

IV 調査結果の詳細【事業所調査】

IV 調査結果の詳細【事業所調査】

1 事業所の概要

問1 貴事業所の概要（平成27年4月1日時点）についてお答えください。

（※ II 調査概要 6 回答者の属性（1）（P.11）参照）

2 がん検診の実施状況

問2 貴事業所のがん検診の実施状況（平成27年度）についてお答えください。

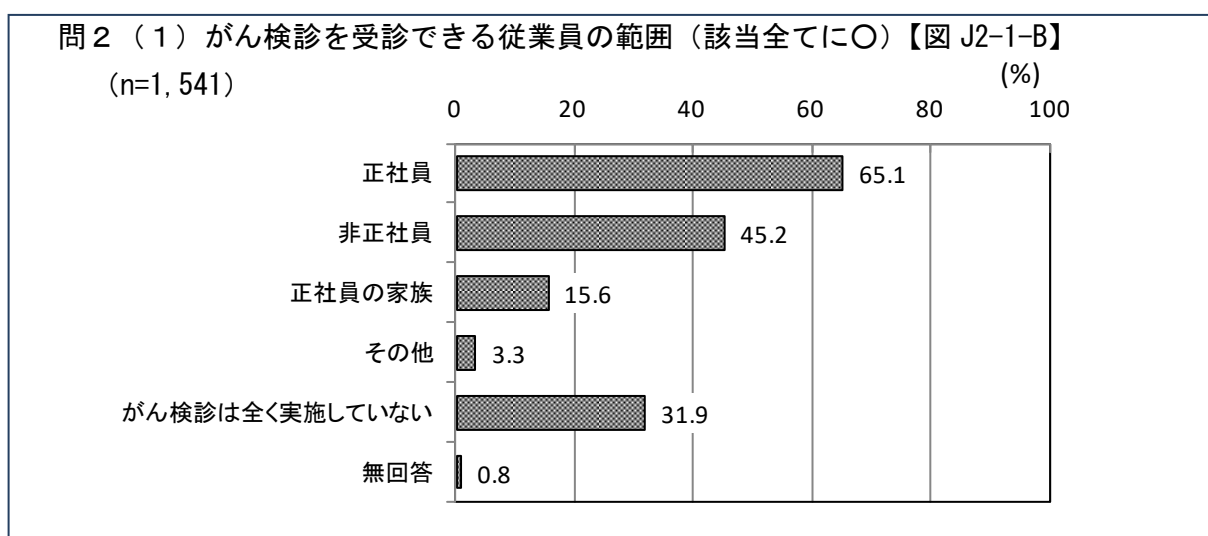
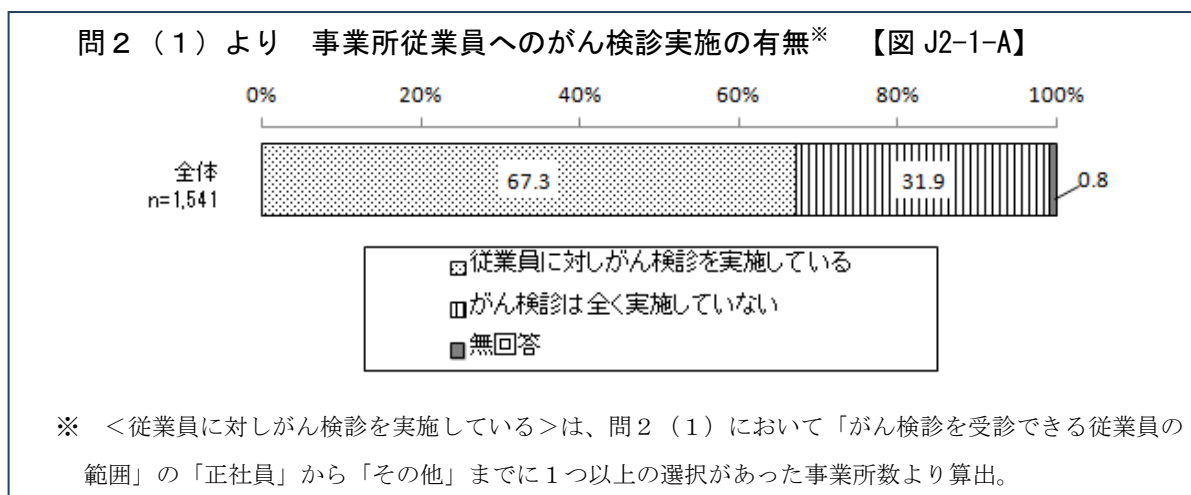
（1）がん検診実施の有無及びがん検診を受診できる従業員の範囲

【全体の傾向】

自らの事業所の＜従業員に対しがん検診を実施している＞事業所は67.3%。「がん検診は全く実施していない」とした事業所は31.9%で、全体の7割近くでがん検診を実施している。

（図 J2-1-A）

がん受診を受診できる従業員の範囲として選択があったのは、「正社員」が65.1%、「非正社員」が45.2%、「正社員の家族」は15.6%に留まる。（図 J2-1-B）



【経営組織別・従業員規模別の傾向】

＜経営組織別＞【表 J2-1-K】

上段:件数、下段:構成比(%)

	事業所数	しがてん検診を 実施 計	しがてん検診を 実施 計				しがてん 検診は 全く ない	無 回 答
			正社員	非正社員	正社員の 家族	その他		
個人経営	111	40	35	10	8	2	71	-
	100.0	36.0	31.5	9.0	7.2	1.8	64.0	-
会社企業の法人	1,058	757	739	503	196	39	295	6
	100.0	71.6	69.8	47.5	18.5	3.7	27.9	0.6
会社以外の法人	310	209	200	159	31	8	98	3
	100.0	67.4	64.5	51.3	10.0	2.6	31.6	1.0

経営組織別にみると、＜従業員に対しがん検診を実施している＞割合は、【会社企業の法人】は71.6%、【会社以外の法人】は67.4%で、【個人経営】は36.0%。(表 J2-1-K)

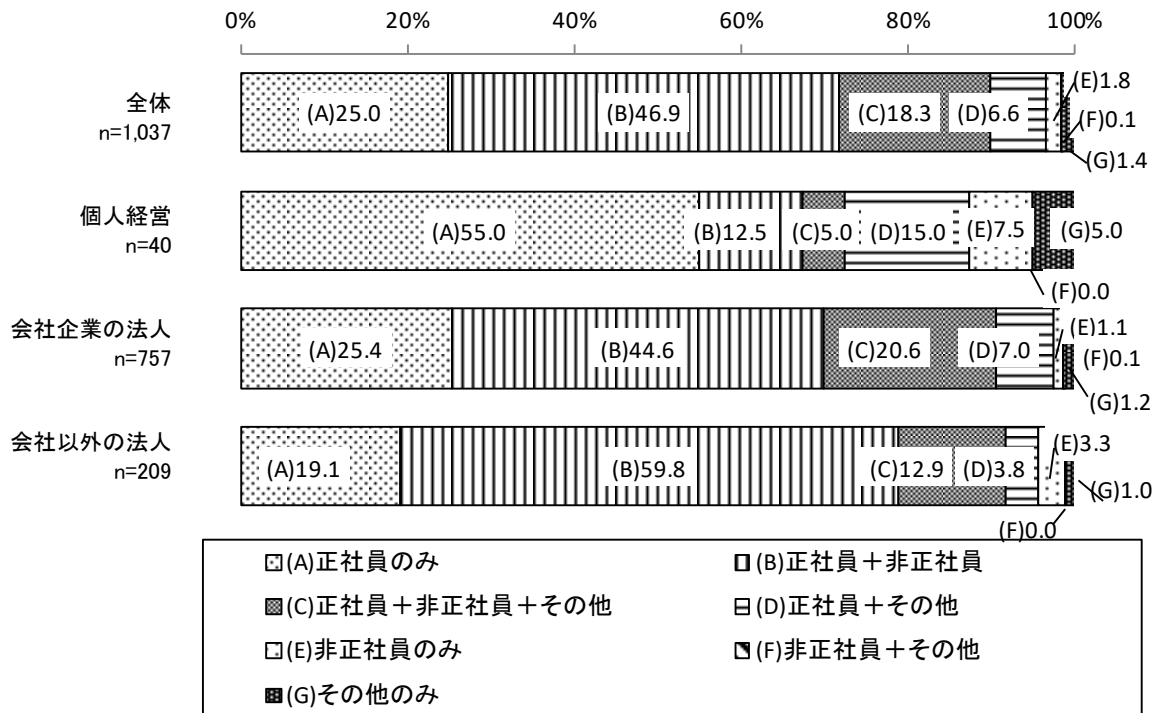
＜従業員規模別＞【表 J2-1-J】

上段:件数、下段:構成比(%)

	事業所数	しがてん検診を 実施 計	しがてん検診を 実施 計				しがてん 検診は 全く ない	無 回 答
			正社員	非正社員	正社員の 家族	その他		
20人未満	455	260	245	99	46	4	191	4
	100.0	57.1	53.8	21.8	10.1	0.9	42.0	0.9
20～99人	448	320	314	224	60	9	125	3
	100.0	71.4	70.1	50.0	13.4	2.0	27.9	0.7
100～499人	476	349	342	296	105	25	126	1
	100.0	73.3	71.8	62.2	22.1	5.3	26.5	0.2
500人以上	122	86	82	63	22	10	35	1
	100.0	70.5	67.2	51.6	18.0	8.2	28.7	0.8

従業員規模別にみると、【20人未満】の事業所では＜従業員に対しがん検診を実施している＞は57.1%に留まり、その他の従業員規模に比べて少ない。【20～99人】【100～499人】【500人以上】では、従業員規模に関わらず＜従業員に対しがん検診を実施している＞はいずれも7割にのぼる。(表 J2-1-J)

【がん検診を受診できる従業員の範囲の組み合わせ（参考）】【図 J2-1-KU】



がん検診を受診できる従業員の範囲について組み合わせをみると、全体では「正社員+非正社員」が46.9%で最も多く、「正社員のみ」が25.0%でこれに次いでいる。

経営組織別にみると、【個人経営】のみ「正社員のみ」が最も多く、55.0%にのぼる。(図 J2-1-KU)

(2) 各がん検診実施の有無及び実施主体

【全体の傾向】

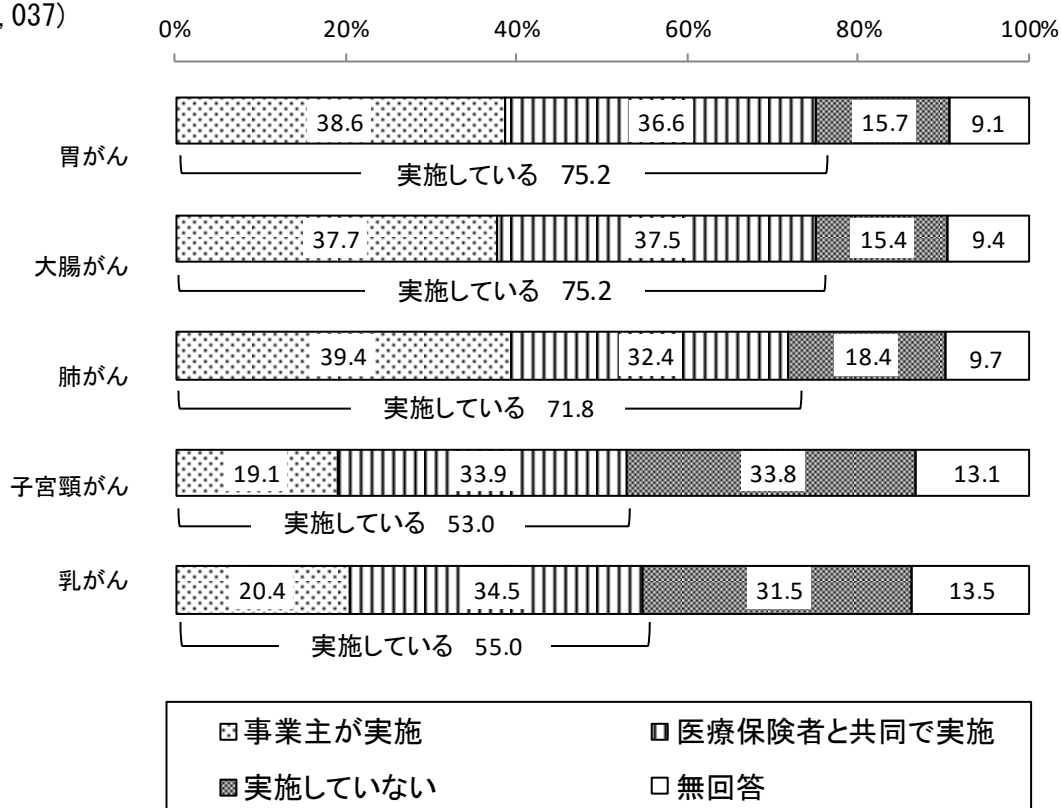
＜従業員に対しがん検診を実施している＞事業所に、各がん検診の実施主体を伺ったところ、正社員・非正社員とも、[胃がん][大腸がん]は「事業主が実施」、「医療保険者と共同で実施」がほぼ同じ割合で、[肺がん]は「事業主が実施」が多く、[子宮頸がん]及び[乳がん]は、「医療保険者と共同で実施」が多い。(図 J2-2-SZ/図 J2-2-HZ)

[正社員]

問2 (2) 実施主体 (各がんについて、該当1つずつに○) 【図 J2-2-SZ】

＜全体＞

(n=1,037)



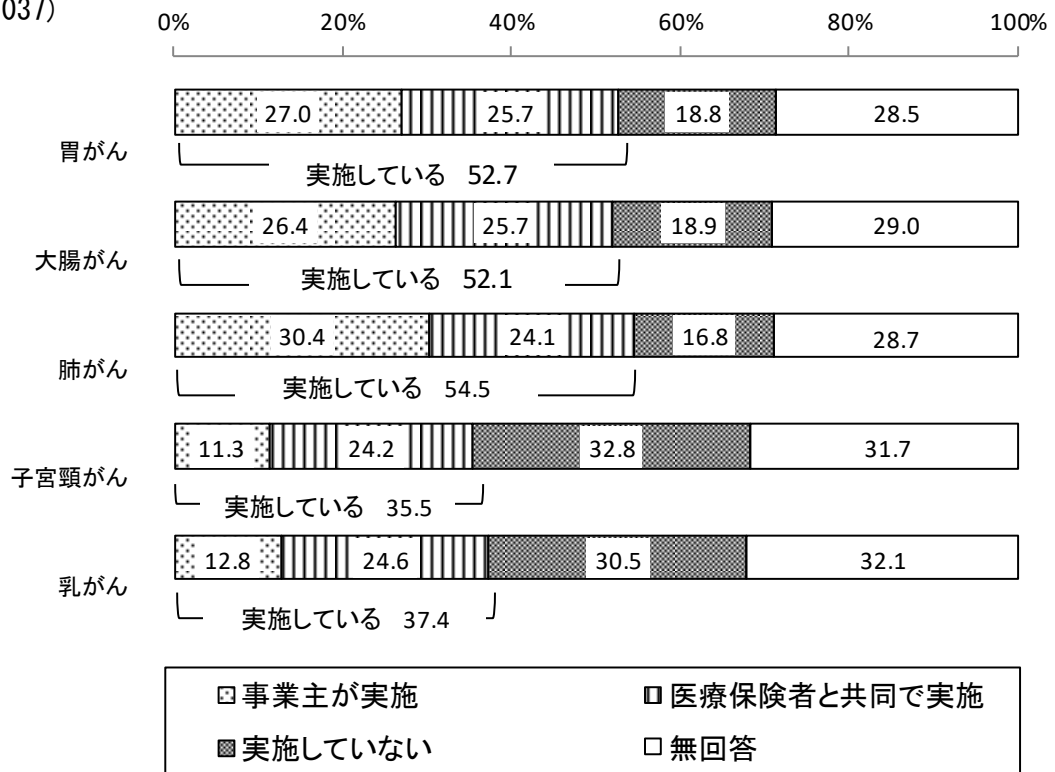
正社員では、「事業主が実施」と「医療保険者と共同で実施」を合計した、各がん検診を＜実施している＞事業所は、[胃がん][大腸がん][肺がん]で7割を超えており、[子宮頸がん][乳がん]では5割台である。(図 J2-2-SZ)

[非正社員]

問2(2)実施主体(各がんについて、該当1つずつに○)【図 J2-2-HZ】

<全体>

(n=1,037)

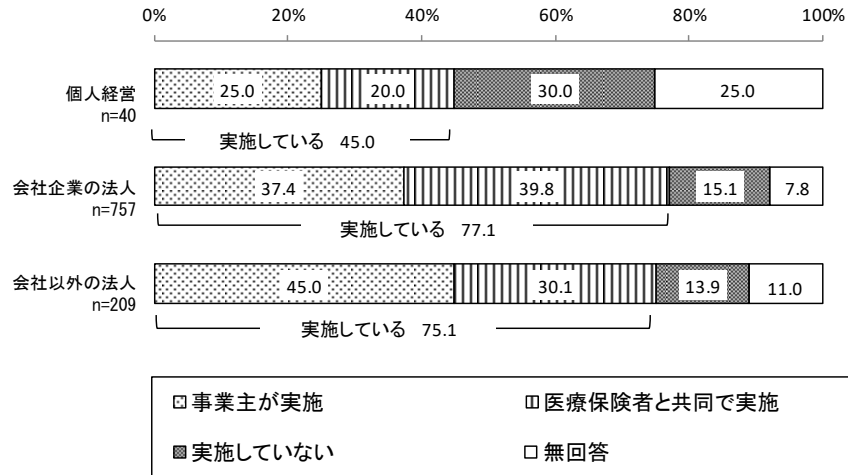


非正社員では、各がん検診を<実施している>事業所は、[胃がん][大腸がん][肺がん]が5割を超えており、[子宮頸がん]及び[乳がん]は3割台である。(図 J2-2-HZ)

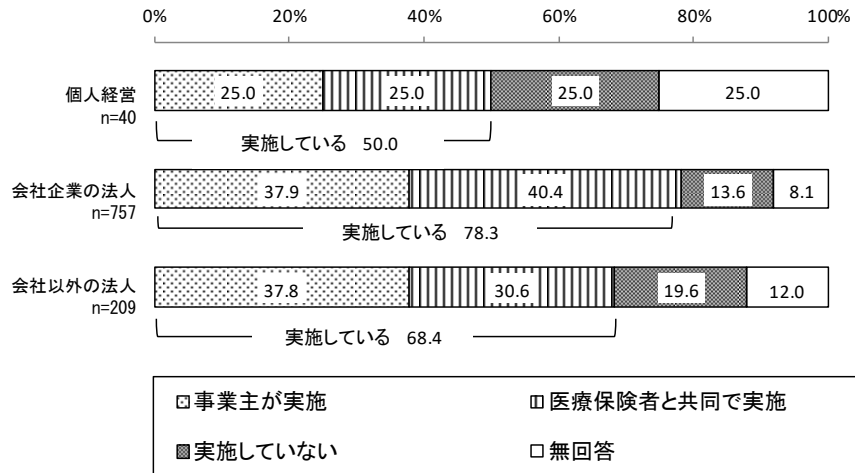
【各がんの経営組織別・従業員規模別の傾向】

ア. 経営組織別の傾向（正社員）【図 J2-2-SK】

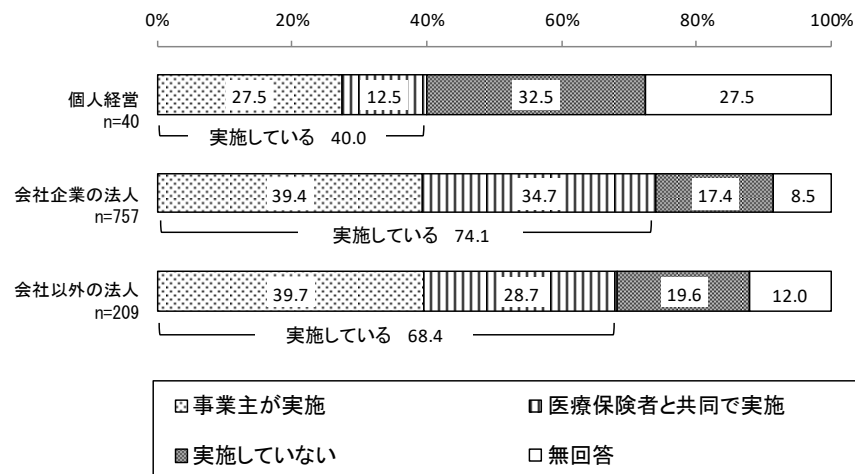
【胃がん】

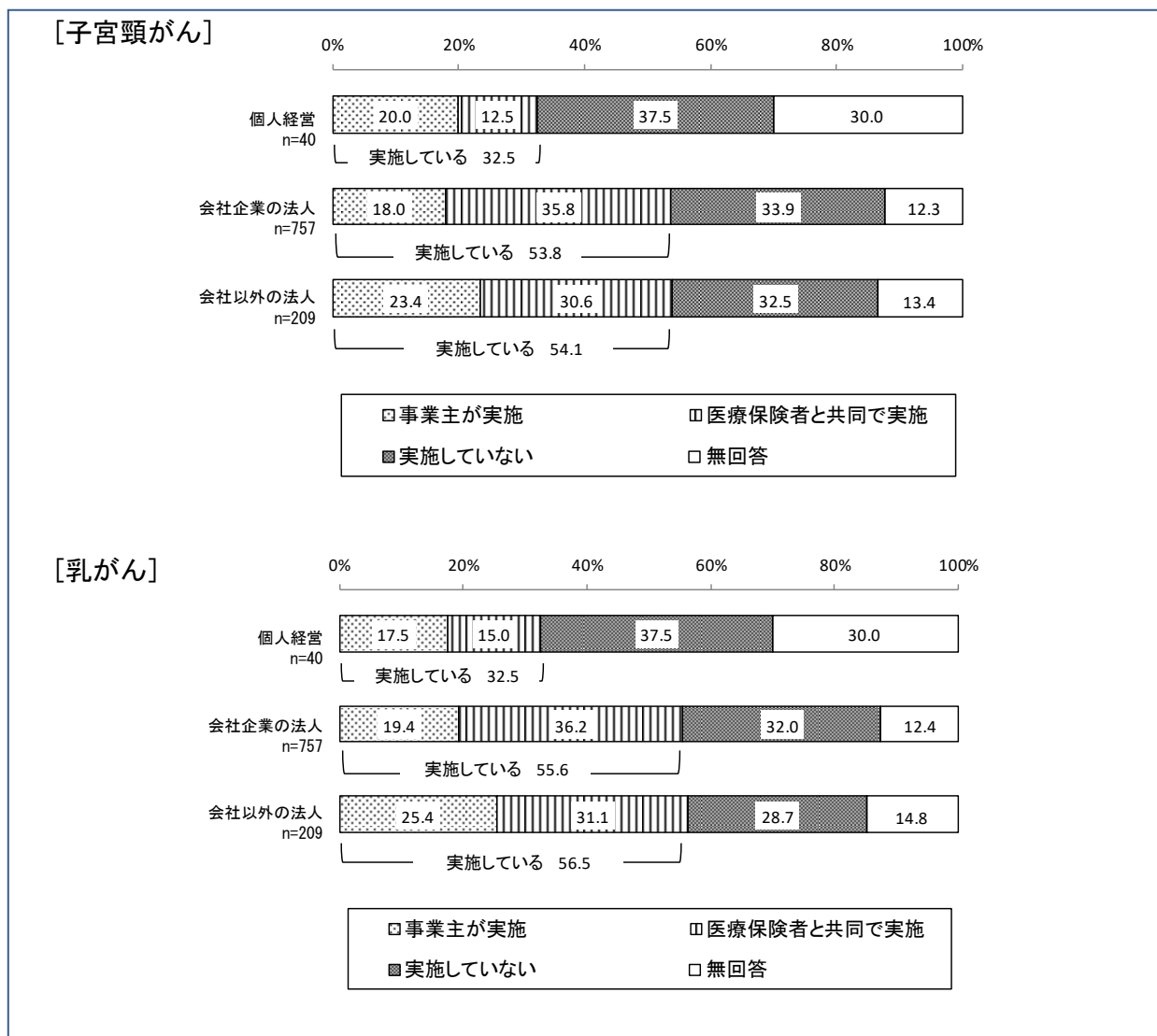


【大腸がん】



【肺がん】

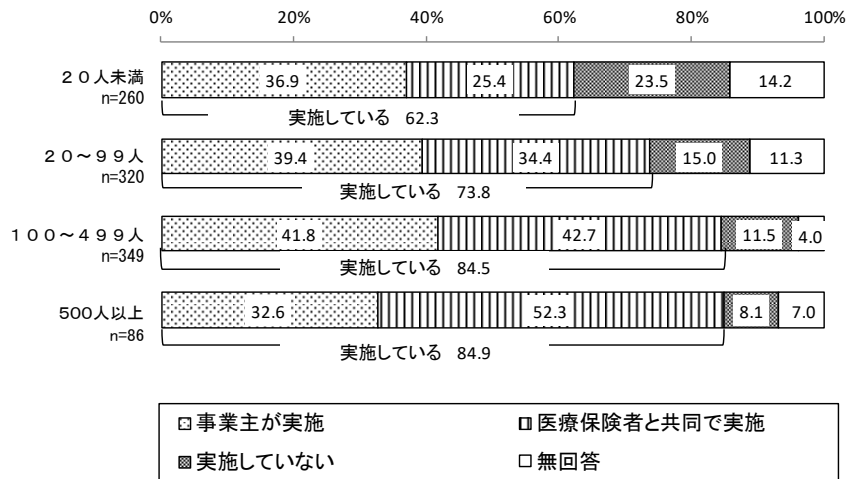




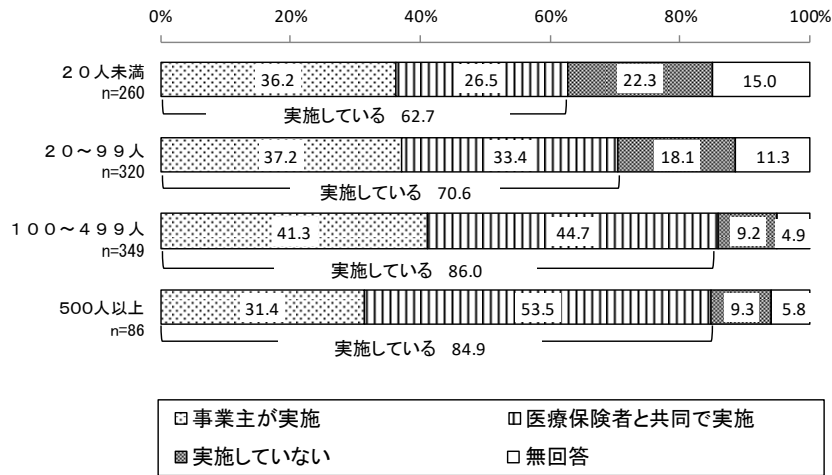
正社員での状況を経営組織別にみると、各がん検診を<実施している>事業所は、[胃がん][大腸がん][肺がん]においては、【会社企業の法人】【会社以外の法人】では6～7割である一方、【個人経営】では4～5割に留まる。また、[子宮頸がん][乳がん]についても、【会社企業の法人】【会社以外の法人】ではいずれも5割である一方、【個人経営】では3割に留まる。【個人経営】では、他の経営組織と比べると、5つのがんすべてにおいて<実施している>が少ない。(図 J2-2-SK)

イ. 従業員規模別の傾向（正社員）【図 J2-2-SJ】

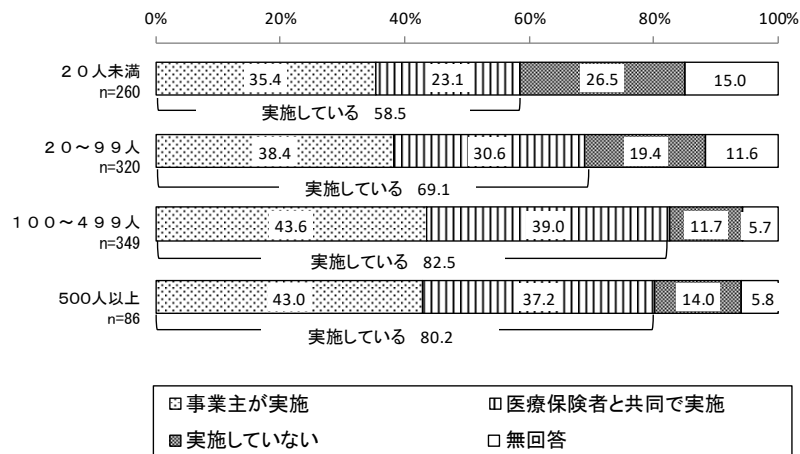
[胃がん]



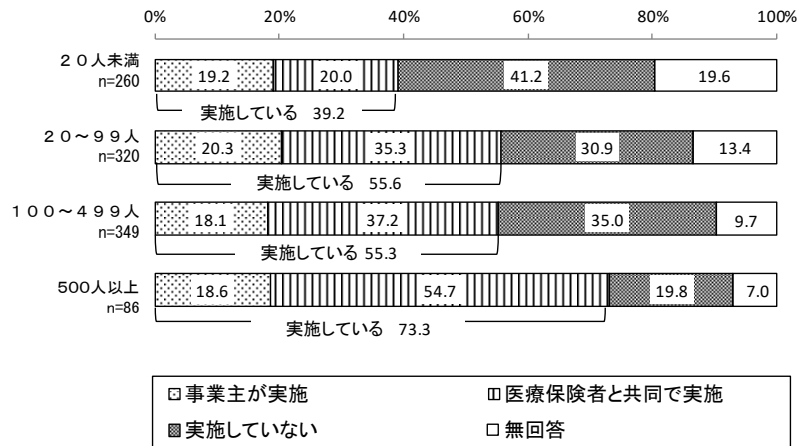
[大腸がん]



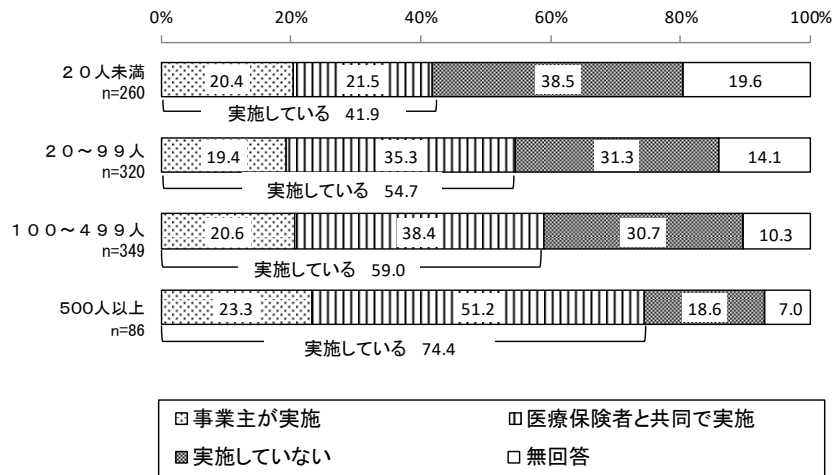
[肺がん]



[子宮頸がん]



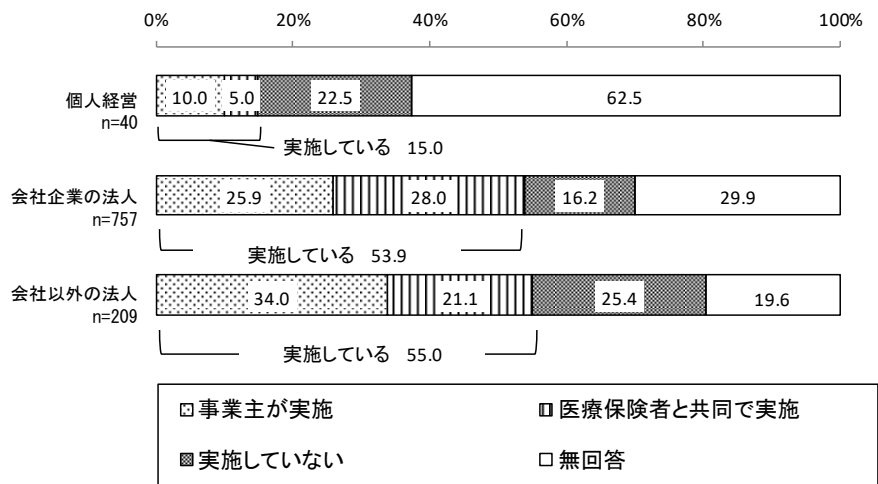
[乳がん]



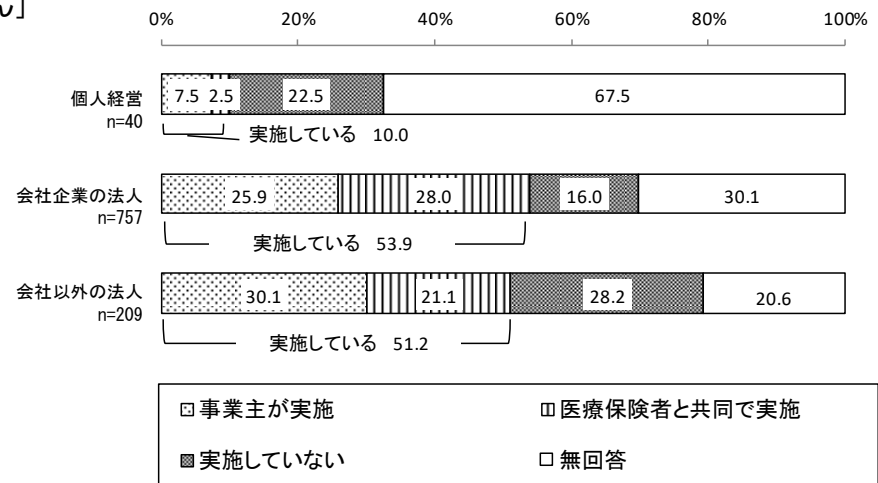
正社員での状況を従業員規模別にみると、5つのがんすべてにおいて、従業員規模が大きいほど<実施している>が多い傾向にある。各がん検診について<実施している>事業所は、[胃がん][子宮頸がん][乳がん]では【500人以上】が7～8割で最も多い。[大腸がん][肺がん]では、【100～499人】が最も多いが、【500人以上】も8割を超えている。(図 J2-2-SJ)

ウ. 経営組織別の傾向（非正社員）【図 J2-2-HK】

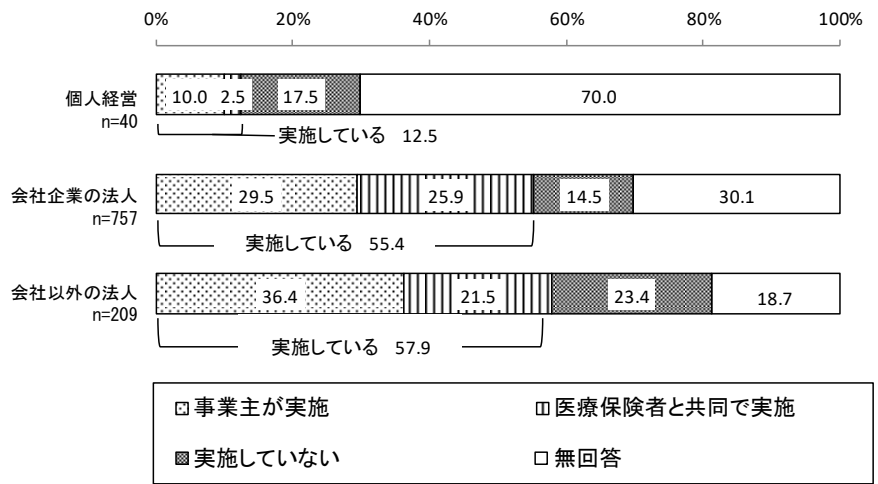
[胃がん]

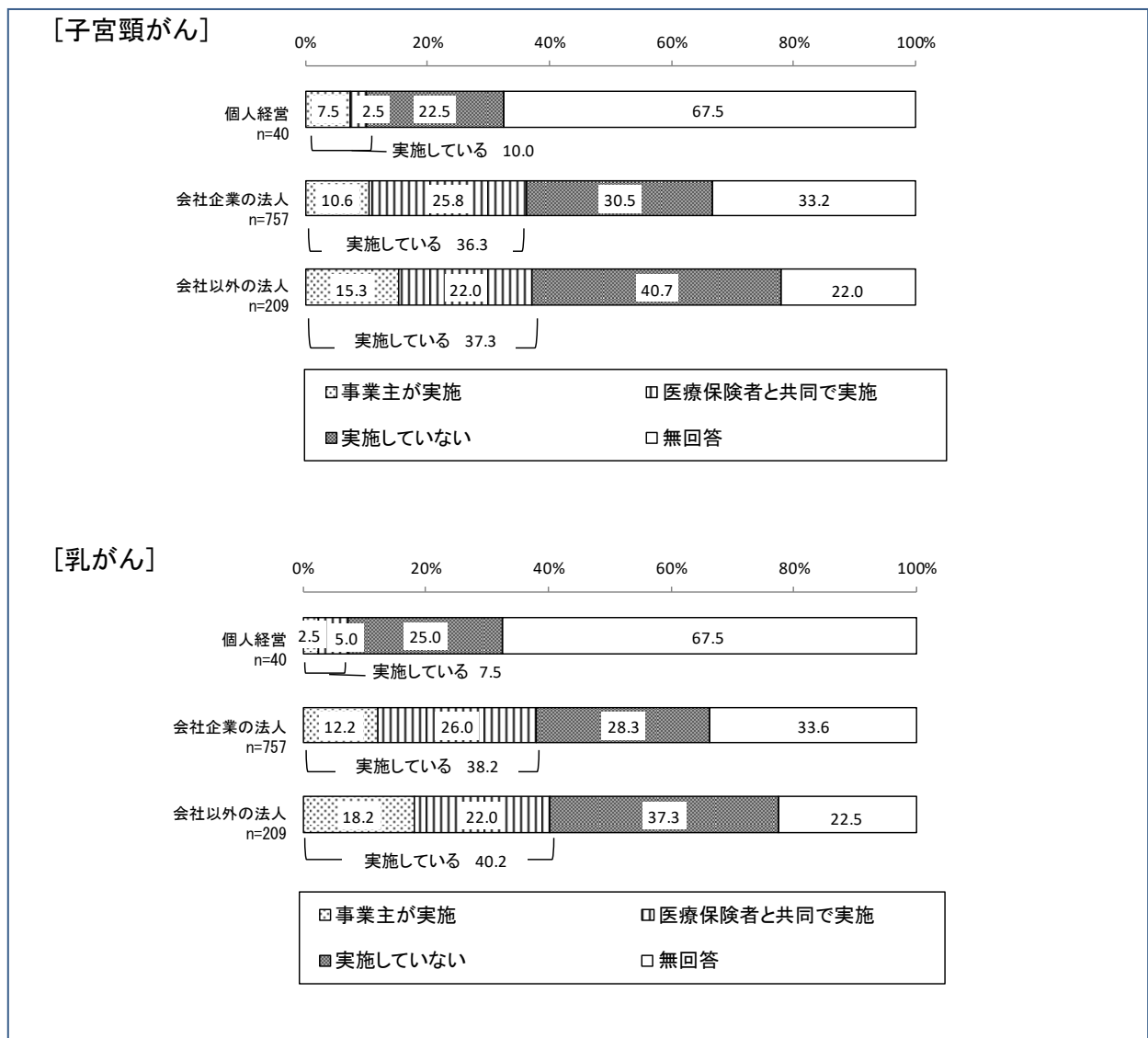


[大腸がん]



[肺がん]

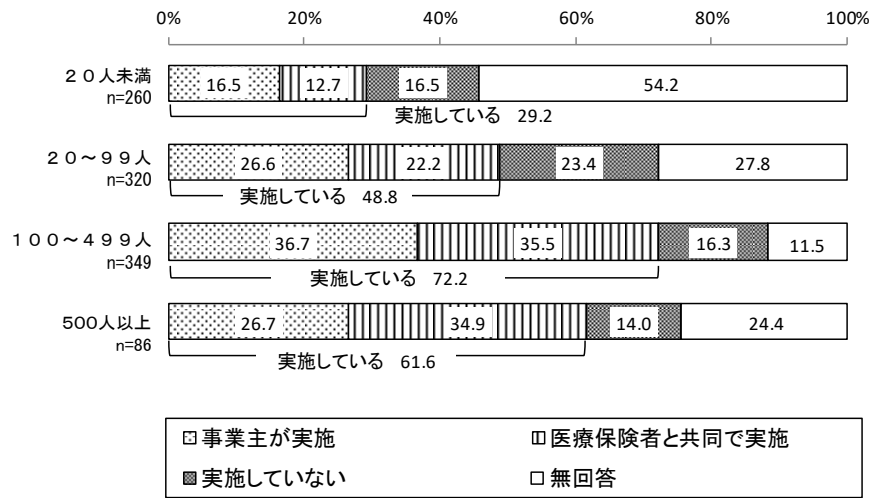




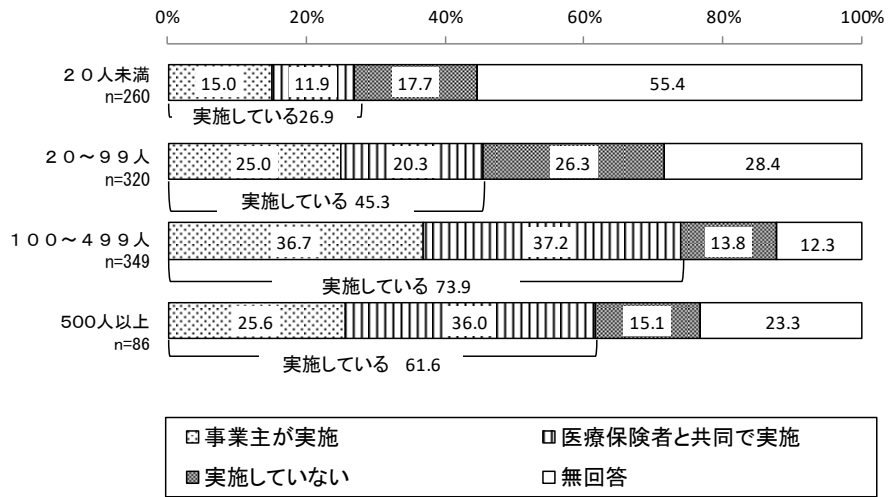
非正社員での状況を経営組織別にみると、各がん検診を<実施している>事業所は、【会社企業の法人】【会社以外の法人】では[胃がん][大腸がん][肺がん]が5割台。[子宮頸がん][乳がん]は3～4割であるが、【個人経営】ではすべてのがんについて1割前後に留まる。(図 J2-2-HK)

エ. 従業員規模別の傾向（非正社員）【図 J2-2-HJ】

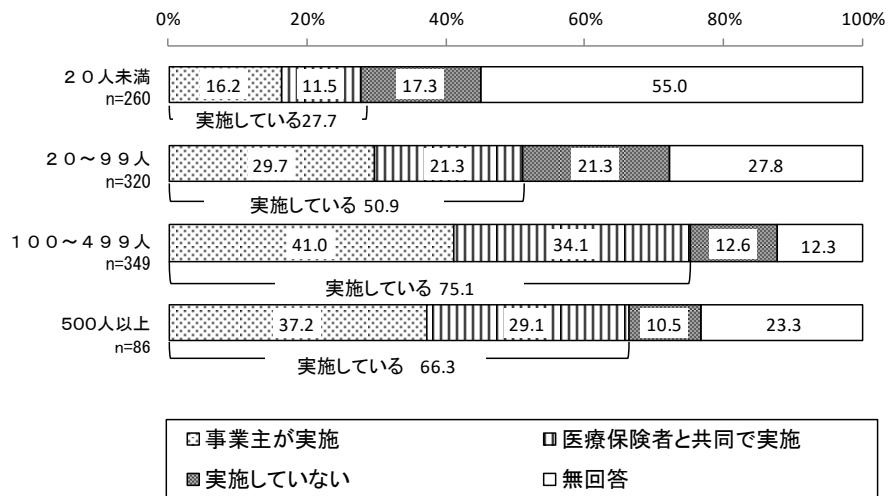
【胃がん】

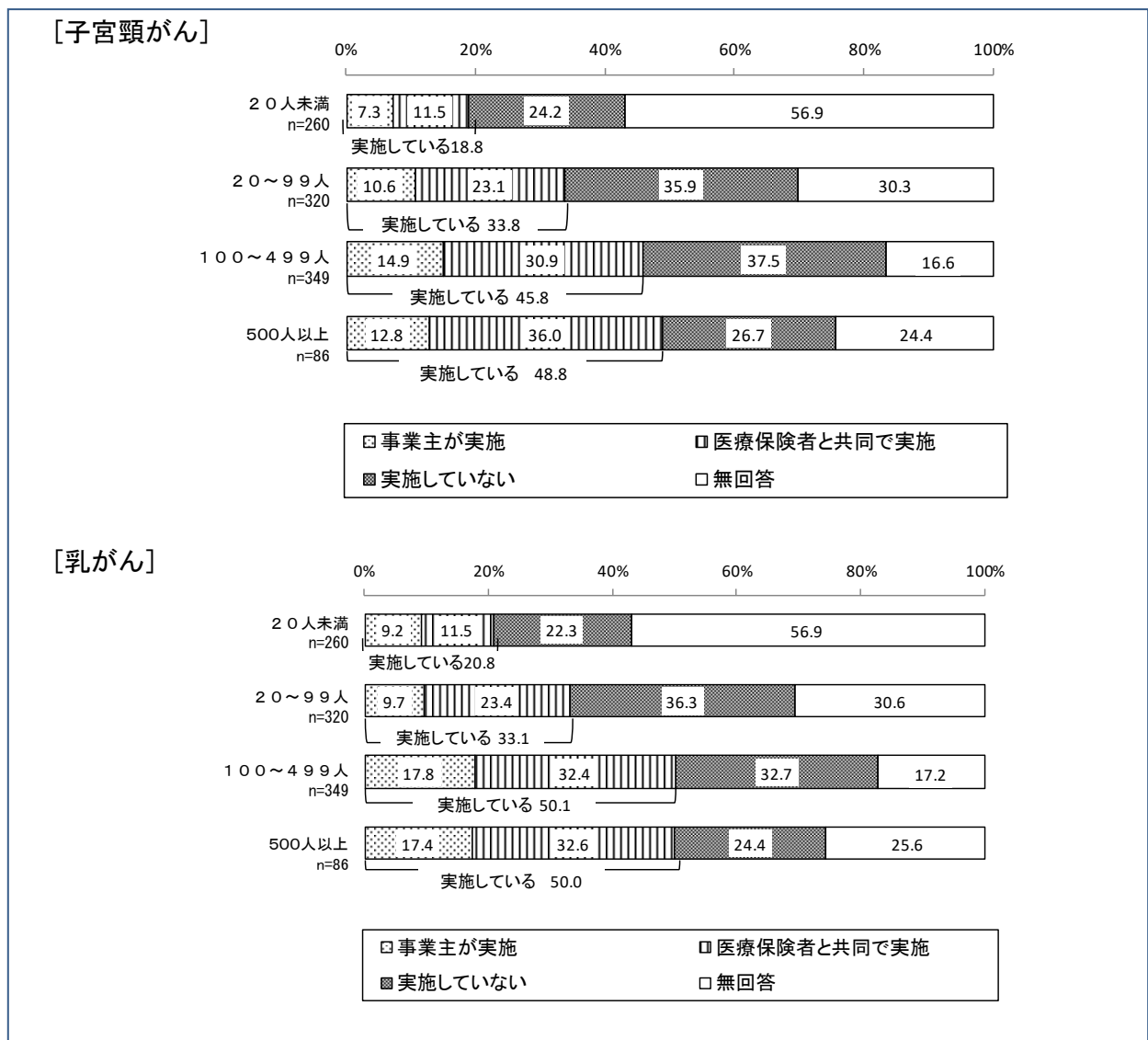


【大腸がん】



【肺がん】





非正社員での状況を従業員規模別にみると、[子宮頸がん]を除くすべてのがんについて、【20人未満】より従業員規模が大きくなるにつれ<実施している>事業所が多くなり、【500人以上】で若干減少する傾向にある。[子宮頸がん]では、従業員規模が大きいほど<実施している>事業所が多く、【500人以上】が48.8%で最も多い。(図 J2-2-HJ)

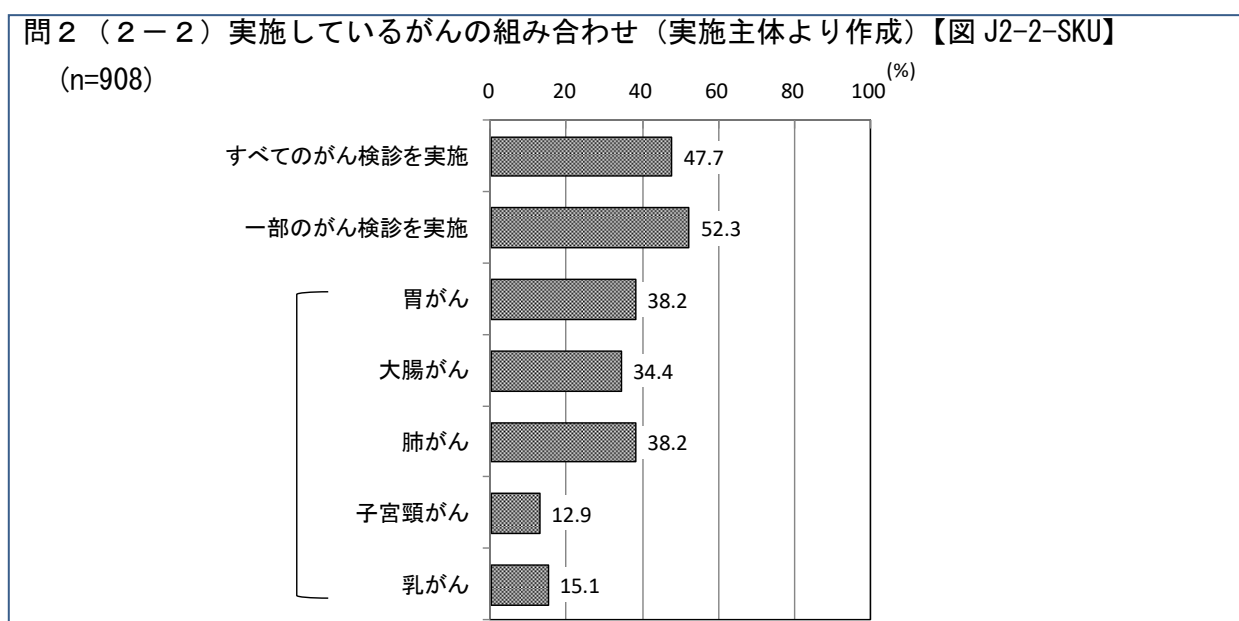
(2-2) (参考) 実施しているがんの組み合わせ

【全体の傾向】

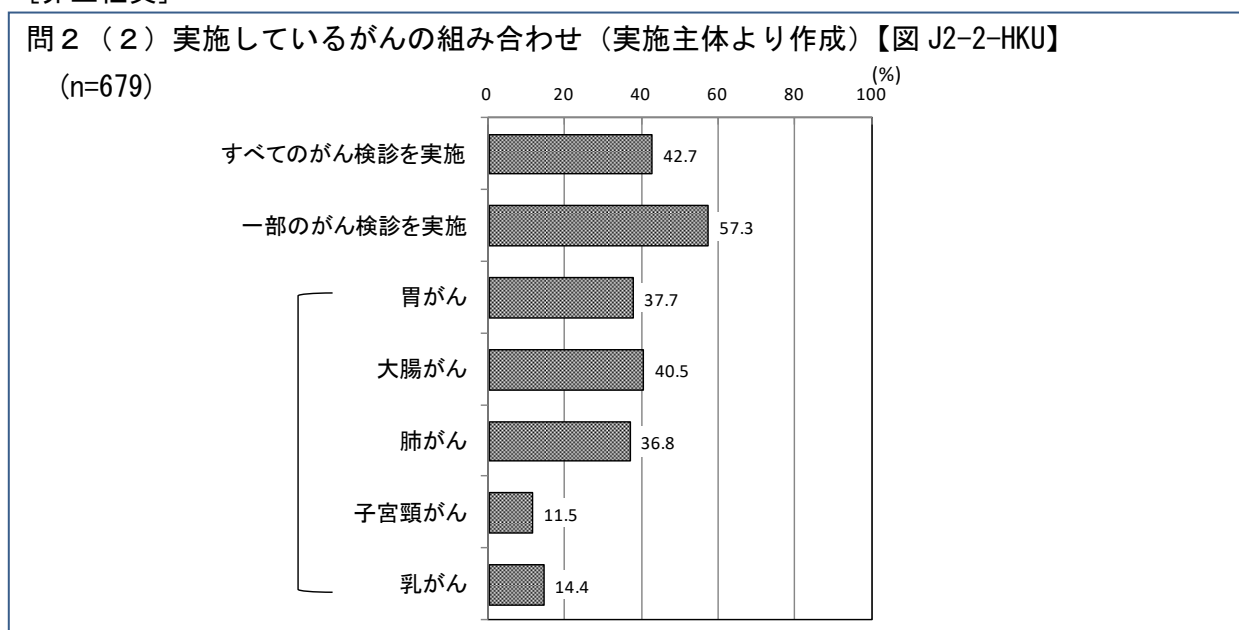
がん検診を実施している事業所における、実施しているがんの組み合わせをみると、正社員・非正社員ともに、「一部のがん検診を実施」がそれぞれ52.3%、57.3%で最も多く、「すべてのがん検診を実施」はそれぞれ47.7%、42.7%に留まる。

「一部のがん検診を実施」している場合の実施しているがんの種類は、正社員では[胃がん][肺がん]が38.2%で最も多く、[大腸がん]が34.4%でこれに次いでいる。非正社員では[大腸がん]が40.5%で最も多く、次いで[胃がん]が37.7%、[肺がん]が36.8%となっている。[子宮頸がん][乳がん]は正社員・非正社員ともに1割台に留まる。(図 J2-2-SKU/図 J2-2-HKU)

【正社員】



【非正社員】



【経営組織別・従業員規模別の傾向】

ア. 正社員

＜経営組織別＞【表 J2-2-SKU-K】

	事業所数	すべてののがん検診を実施	一部のがん検診を実施	上段:件数、下段:構成比(%)				
				胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
個人経営	24 100.0	9 37.5	15 62.5	9 37.5	7 29.2	11 45.8	4 16.7	4 16.7
会社企業の法人	666 100.0	331 49.7	335 50.3	253 38.0	230 34.5	262 39.3	76 11.4	90 13.5
会社以外の法人	190 100.0	78 41.1	112 58.9	79 41.6	65 34.2	65 34.2	35 18.4	40 21.1

正社員の状況を経営組織別にみると、【会社企業の法人】では「すべてのがん検診を実施」と「一部のがん検診を実施」が5割前後でほぼ同じ割合だが、【個人経営】【会社以外の法人】では「すべてのがん検診を実施」は4割前後。(表 J2-2-SKU-K)

＜従業員規模別＞【表 J2-2-SKU-J】

	事業所数	すべてののがん検診を実施	一部のがん検診を実施	上段:件数、下段:構成比(%)				
				胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
20人未満	188 100.0	79 42.0	109 58.0	83 44.1	73 38.8	84 44.7	23 12.2	30 16.0
20～99人	281 100.0	135 48.0	146 52.0	101 35.9	86 30.6	91 32.4	43 15.3	40 14.2
100～499人	335 100.0	160 47.8	175 52.2	135 40.3	128 38.2	140 41.8	33 9.9	46 13.7
500人以上	82 100.0	49 59.8	33 40.2	24 29.3	20 24.4	24 29.3	14 17.1	15 18.3

正社員の状況を従業員規模別にみると、【20人未満】では「一部のがん検診を実施」が58.0%で最も多いが、【20～99人】【100～499人】では「すべてのがん検診を実施」と「一部のがん検診を実施」がともに5割前後でほぼ同じ割合となっている。【500人以上】では「すべてのがん検診を実施」が59.8%で最も多く、従業員規模が大きいほど「すべてのがん検診を実施」が多い傾向にある。(表 J2-2-SKU-J)

イ. 非正社員

<経営組織別> 【表 J2-2-HKU-K】

	事業所数	すべてのがん検診を実施	一部のがん検診を実施	上段:件数、下段:構成比(%)				
				胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
個人経営	9 100.0	1 11.1	8 88.9	5 55.6	4 44.4	6 33.3	6 33.3	2 22.2
会社企業の法人	490 100.0	225 45.9	265 54.1	183 37.3	194 39.6	183 37.3	50 10.2	64 13.1
会社以外の法人	158 100.0	53 33.5	105 66.5	62 39.2	68 43.0	54 34.2	25 15.8	31 19.6

非正社員の状況を経営組織別にみると、いずれの経営組織においても「一部のがん検診を実施」が「すべてのがん検診を実施」を上回っている。特に【個人経営】では88.9%が「一部のがん検診を実施」となっており、「すべてのがん検診を実施」は11.1%に留まる。(表 J2-2-HKU-K)

<従業員規模別> 【表 J2-2-HKU-J】

	事業所数	すべてのがん検診を実施	一部のがん検診を実施	上段:件数、下段:構成比(%)				
				胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
20人未満	91 100.0	40 44.0	51 56.0	36 39.6	32 35.2	30 33.0	9 9.9	14 15.4
20～99人	206 100.0	77 37.4	129 62.6	79 38.3	86 41.7	68 33.0	31 15.0	29 14.1
100～499人	303 100.0	134 44.2	169 55.8	118 38.9	128 42.2	124 40.9	26 8.6	41 13.5
500人以上	64 100.0	32 50.0	32 50.0	21 32.8	25 39.1	21 32.8	10 15.6	11 17.2

非正社員の状況を従業員規模別にみると、【500人以上】では「すべてのがん検診を実施」と「一部のがん検診を実施」がともに50.0%となっているが、その他の従業員規模ではすべて「一部のがん検診を実施」が多い。(表 J2-2-HKU-J)

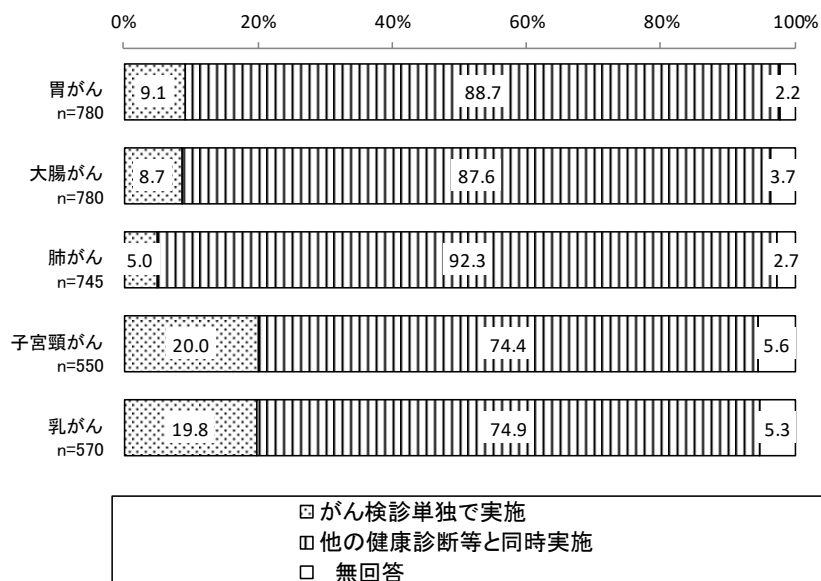
(3) がん検診の実施のタイミング

【全体の傾向】

正社員・非正社員とも、5つのがんすべてにおいて「他の健康診断等と同時実施」が最も多く、[胃がん][大腸がん][肺がん]は9割前後、[子宮頸がん][乳がん]は7割台。「がん検診単独で実施」は、比較的多い[子宮頸がん][乳がん]でも2割程度。(図 J2-3-S/図 J2-3-H)

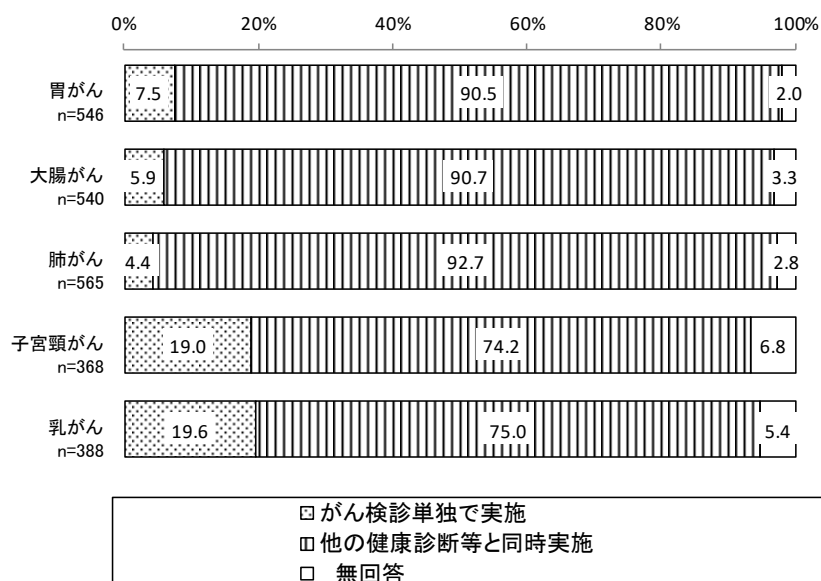
【正社員】

問2 (3) 実施のタイミング (各がんについて、該当1つずつに○) 【図 J2-3-S】



【非正社員】

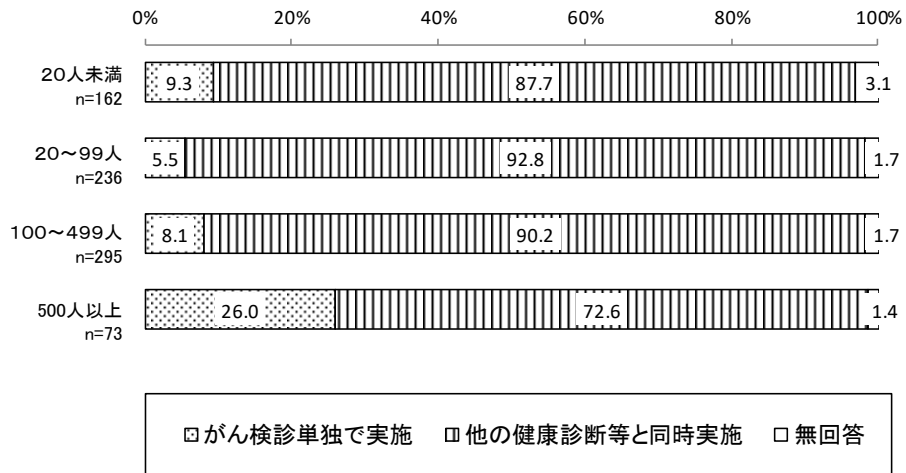
問2 (3) 実施のタイミング (各がんについて、該当1つずつに○) 【図 J2-3-H】



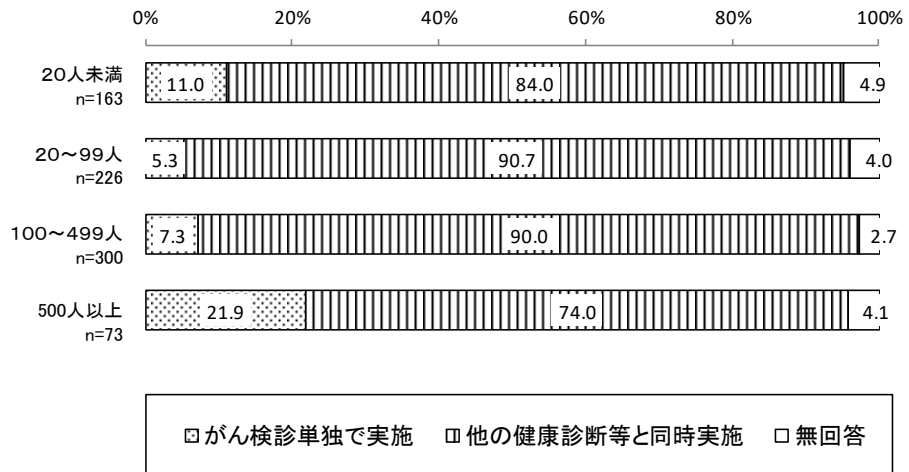
ア. 従業員規模別の傾向（正社員）【図 J2-3-SJ】

<従業員規模別>

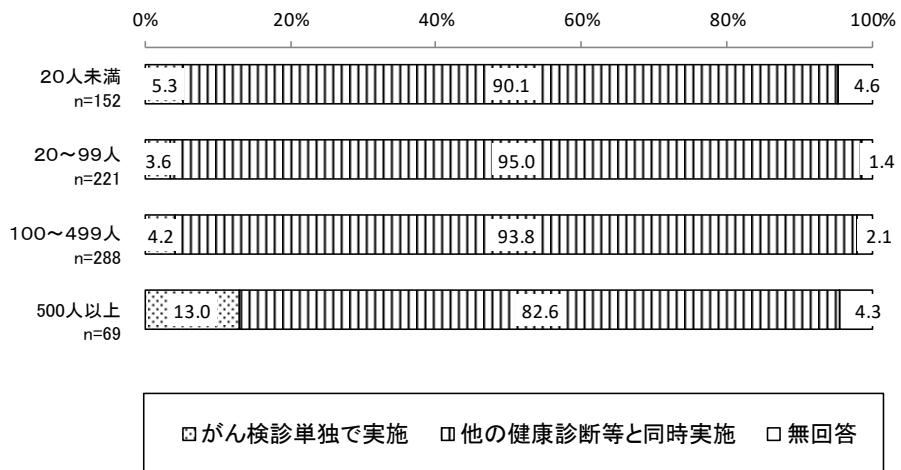
[胃がん]

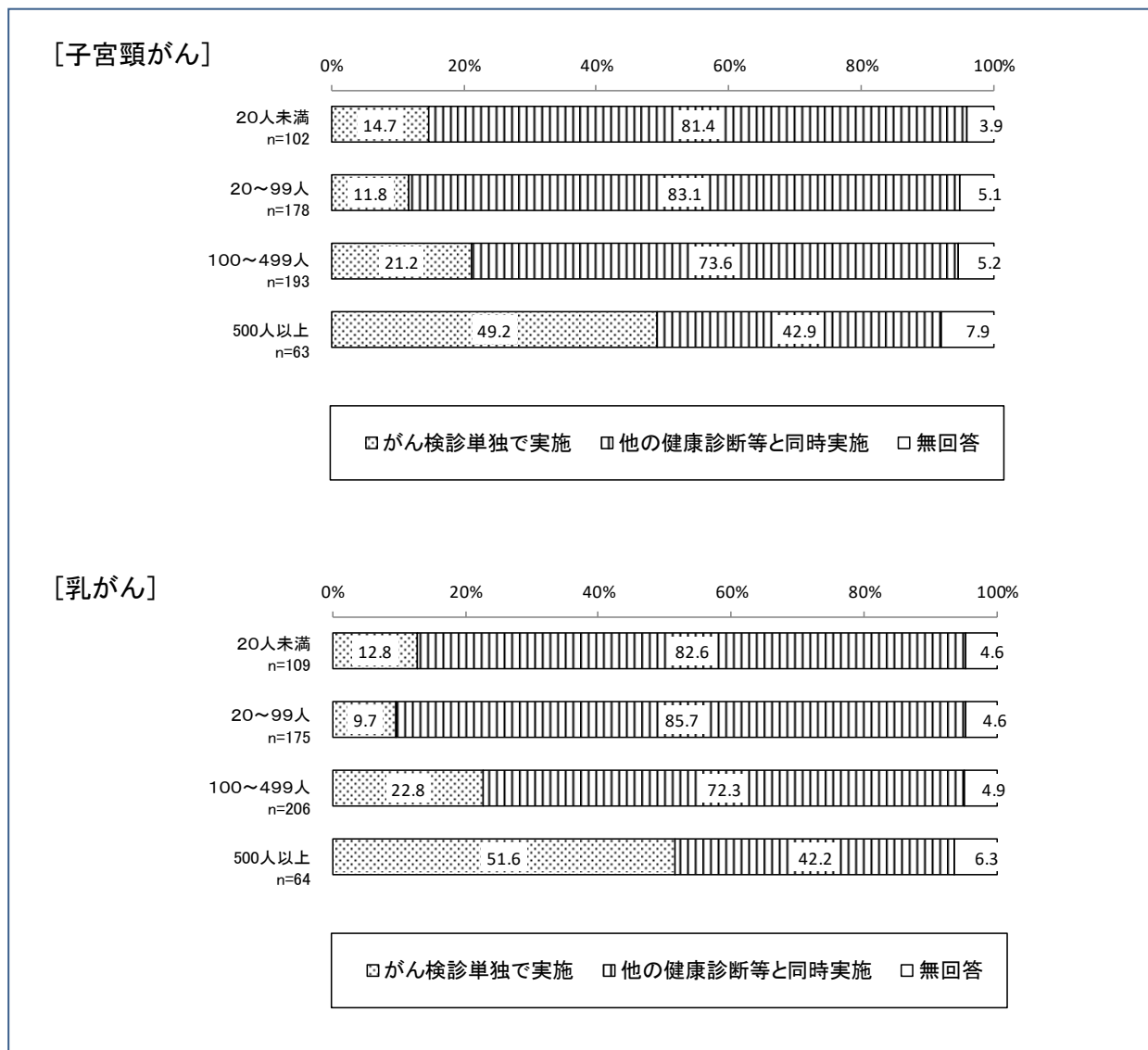


[大腸がん]



[肺がん]



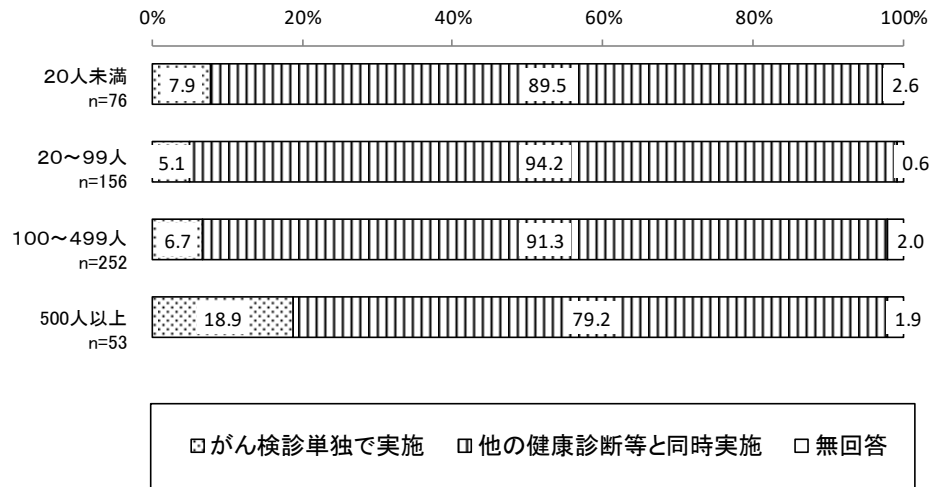


正社員の状況を従業員規模別に見ると、[胃がん][大腸がん][肺がん]ではいずれの従業員規模においても「他の健康診断等と同時実施」が最も多い。[子宮頸がん][乳がん]では【500人以上】において「がん検診で単独で実施」が5割前後と最も多く、「他の健康診断等と同時実施」は4割となっている。【500人以上】の事業所では、5つのがんすべてにおいて、他の従業員規模よりも「がん検診単独で実施」が多い。(図 J2-3-SJ)

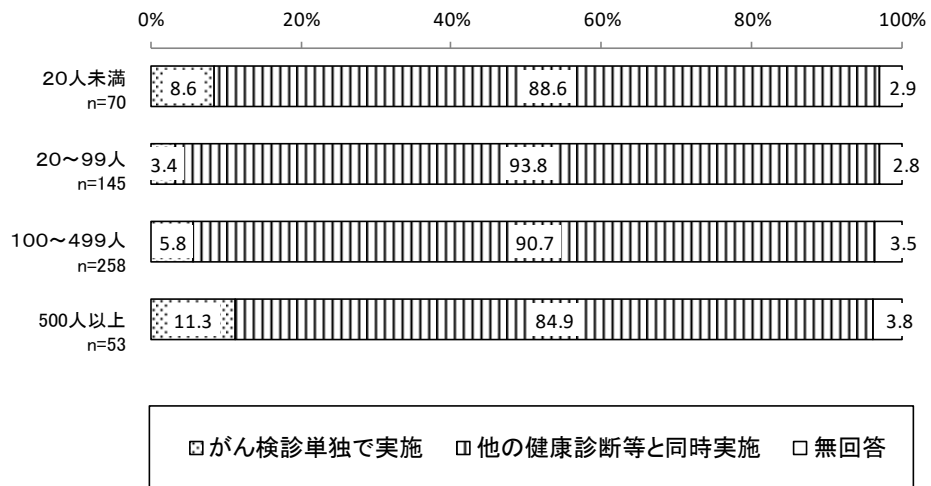
イ. 従業員規模別の傾向（非正社員）【図 J2-3-HJ】

<従業員規模別>

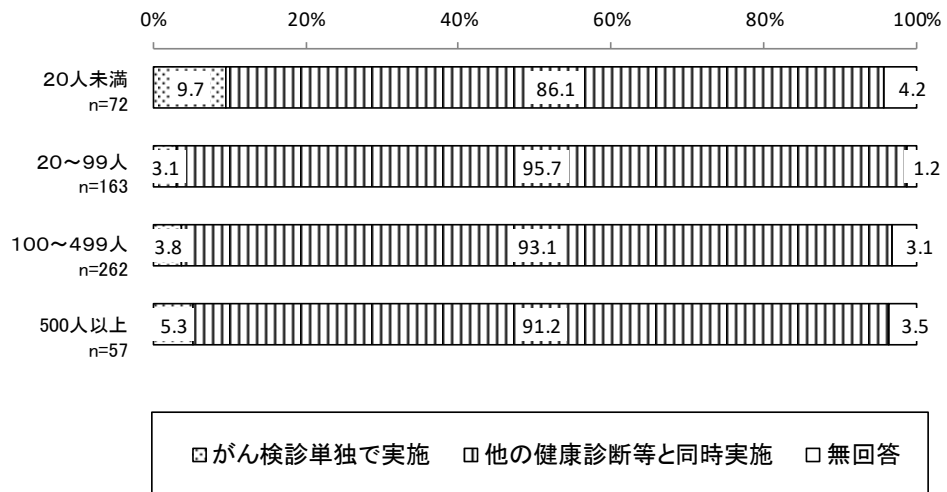
[胃がん]

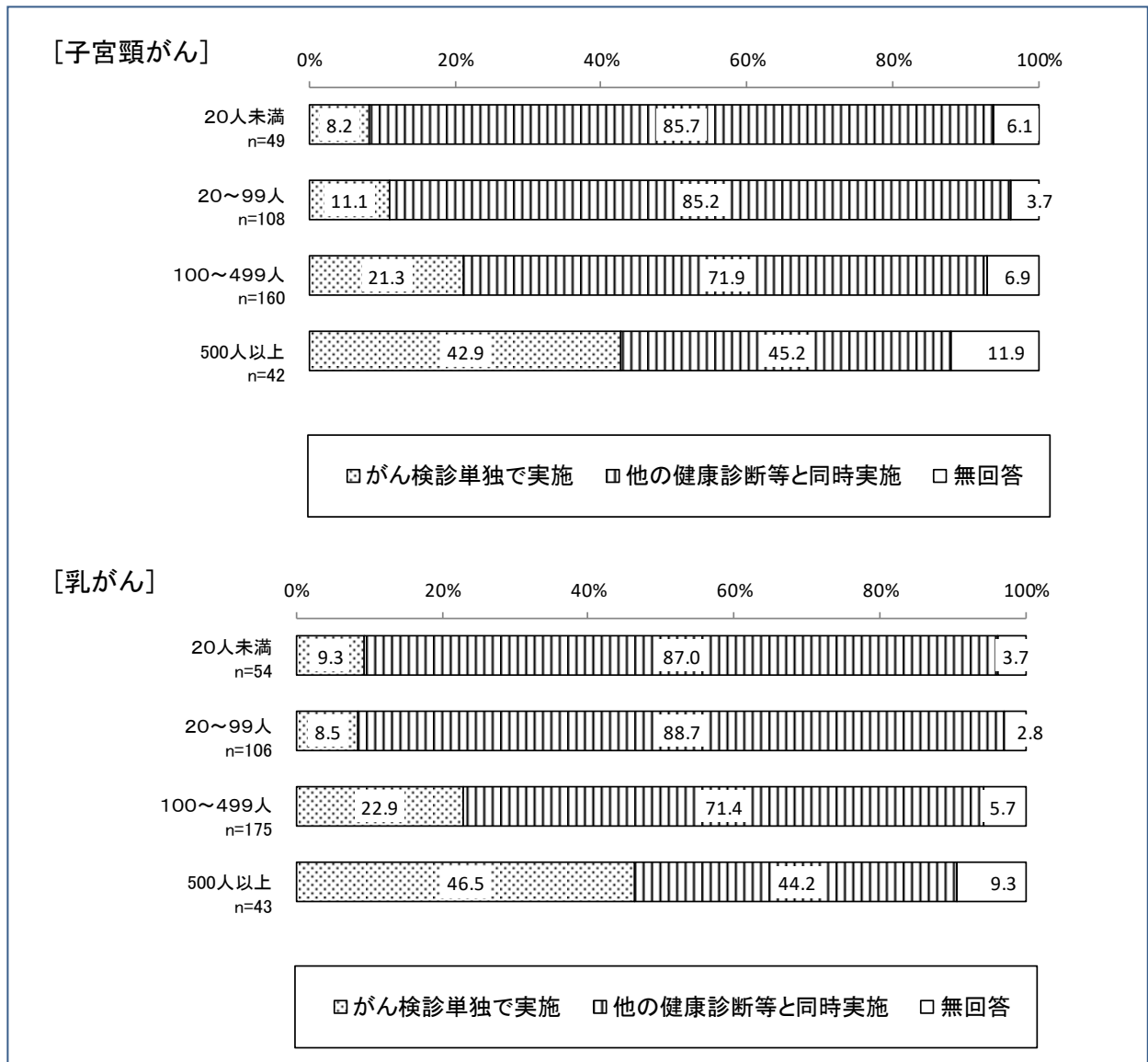


[大腸がん]



[肺がん]





非正社員の状況を従業員規模別にみると、【20人未満】【20~99人】【100~499人】では、5つのがんすべてにおいて「他の健康診断等と同時実施」が最も多い。【500人以上】では、[胃がん][大腸がん][肺がん]においては他の従業員規模と同様に「他の健康診断等と同時実施」が最も多いが、[子宮頸がん][乳がん]では「がん検診単独で実施」と「他の健康診断等と同時実施」がいずれも4割台となっている。[子宮頸がん][乳がん]では従業員規模が大きいほど「がん検診単独で実施」が多い。(図 J2-3-HJ)

(4) がん検診の費用負担の状況

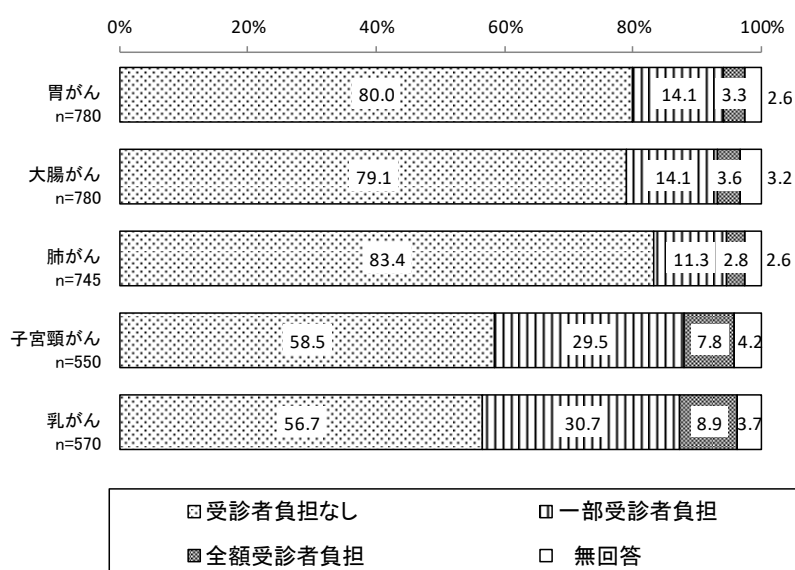
【全体の傾向】

各がん検診の費用負担の状況を伺ったところ、正社員・非正社員とも、5つのがんすべてにおいて「受診者負担なし」が最も多く、[胃がん][大腸がん][肺がん]は8割前後、[子宮頸がん][乳がん]は5割台である。

[子宮頸がん][乳がん]は他のがんに比べて「一部受診者負担」、「全額受診者負担」の割合が高く、「一部受診者負担」が3割前後、「全額受診者負担」が1割前後である。(図 J2-4-S / 図 J2-4-H)

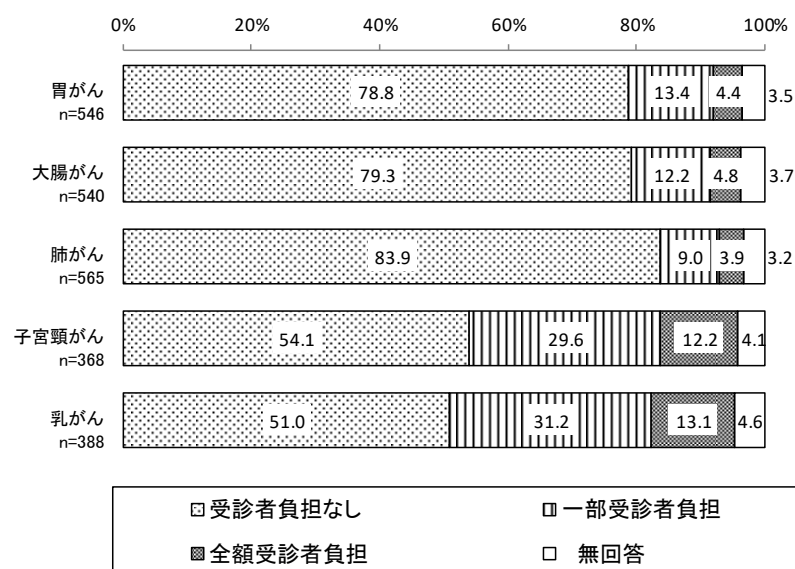
【正社員】

問2(4) 費用負担の状況(各がんについて、該当1つずつに○)【図 J2-4-S】



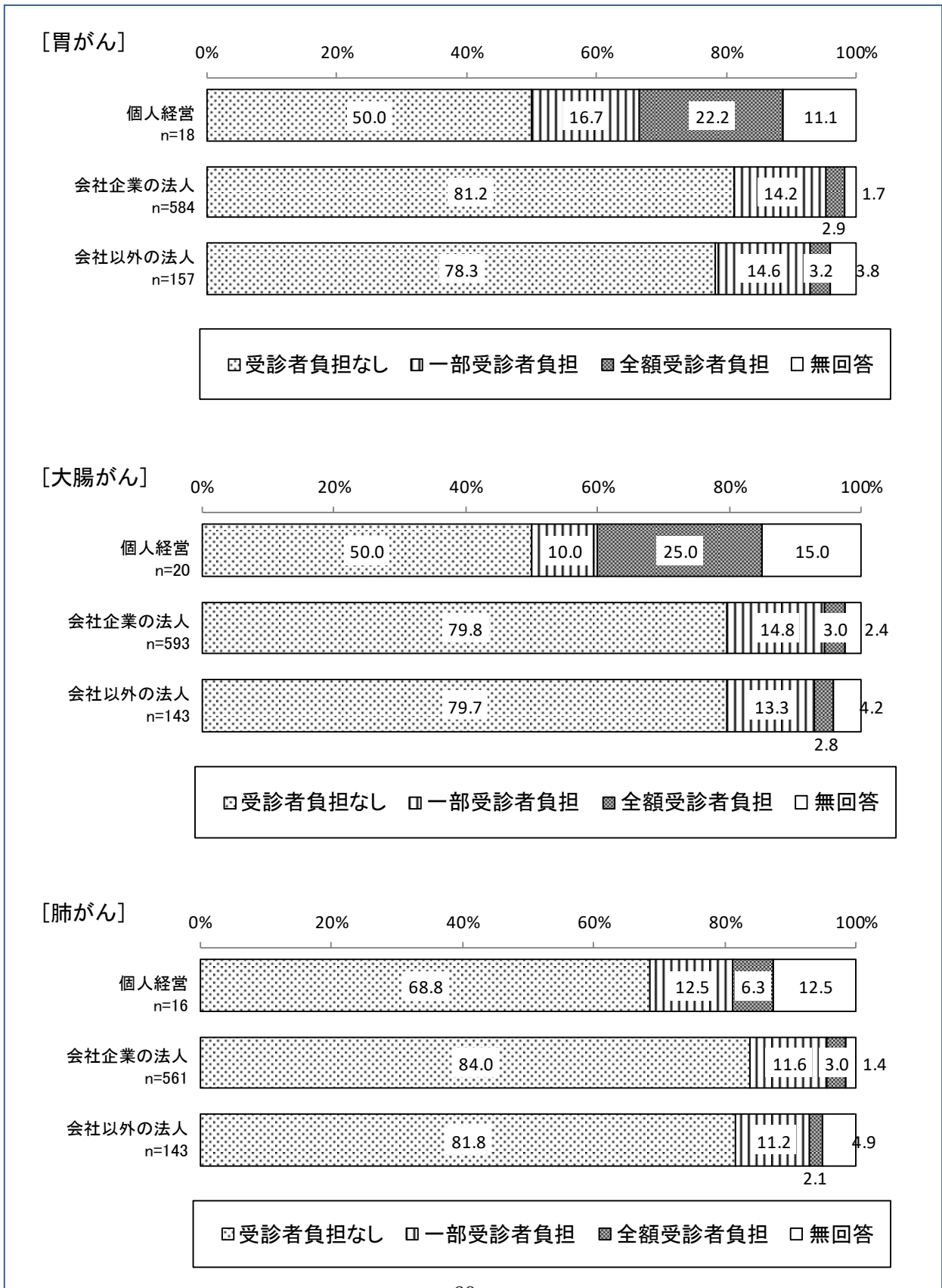
【非正社員】

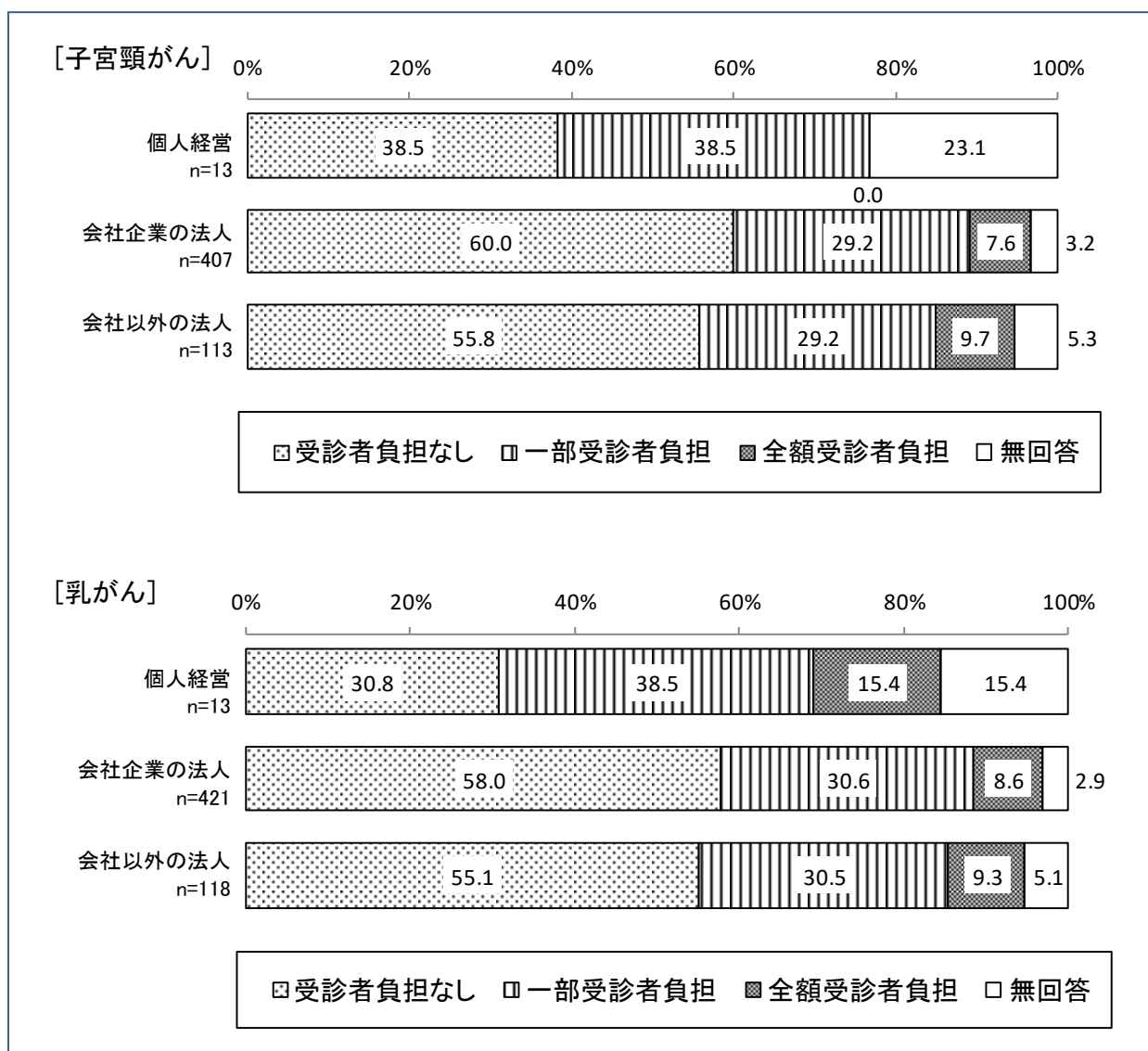
問2(4) 費用負担の状況(各がんについて、該当1つずつに○)【図 J2-4-H】



【経営組織別の傾向】

ア. 経営組織別の傾向（正社員）【図 J2-4-SK】

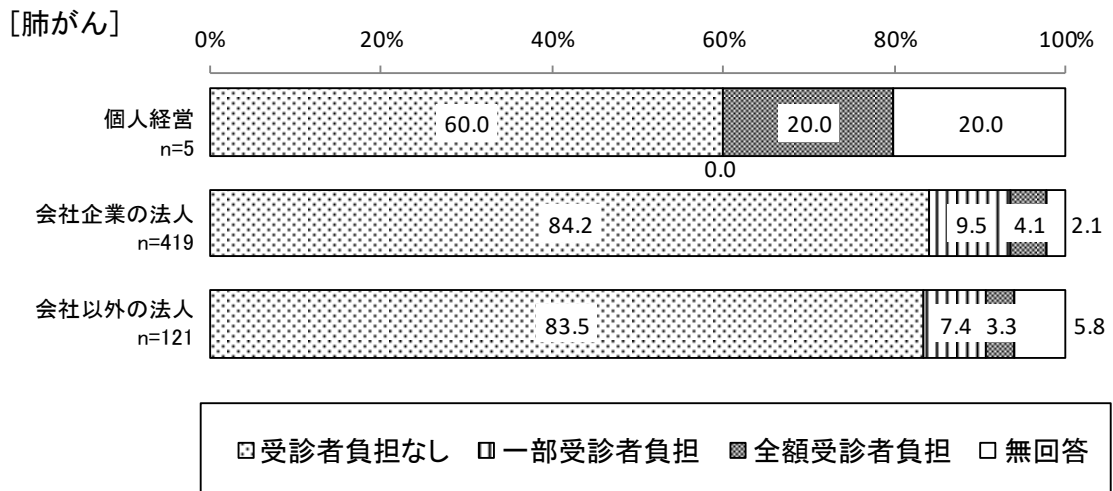
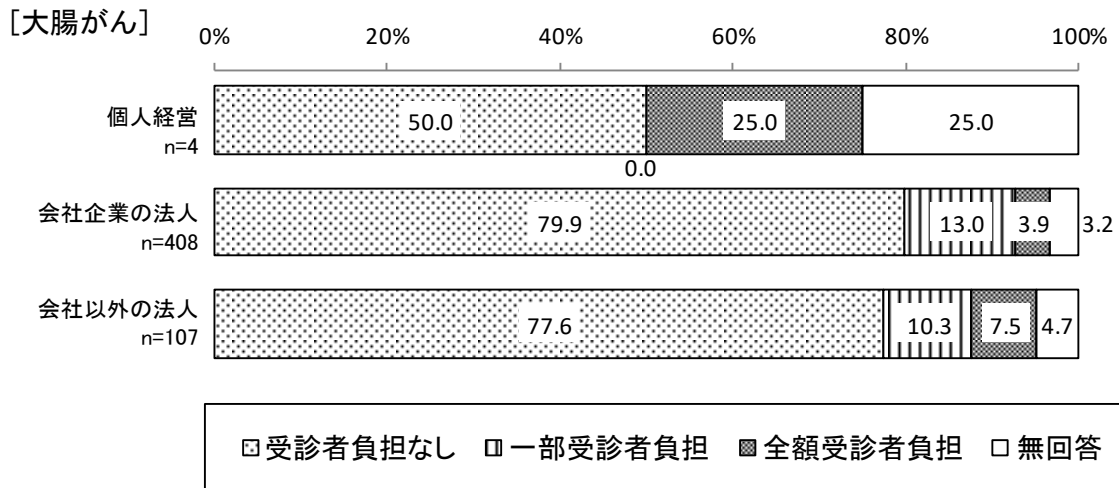
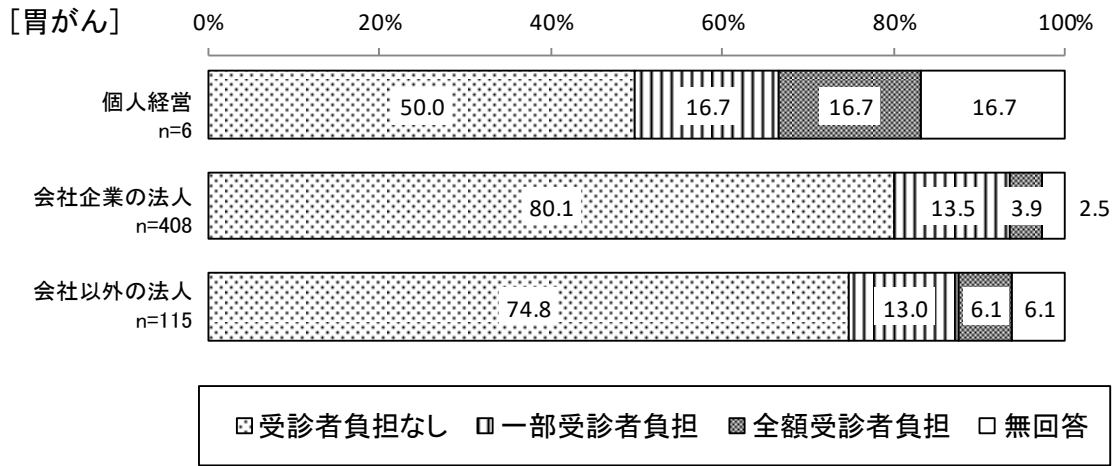


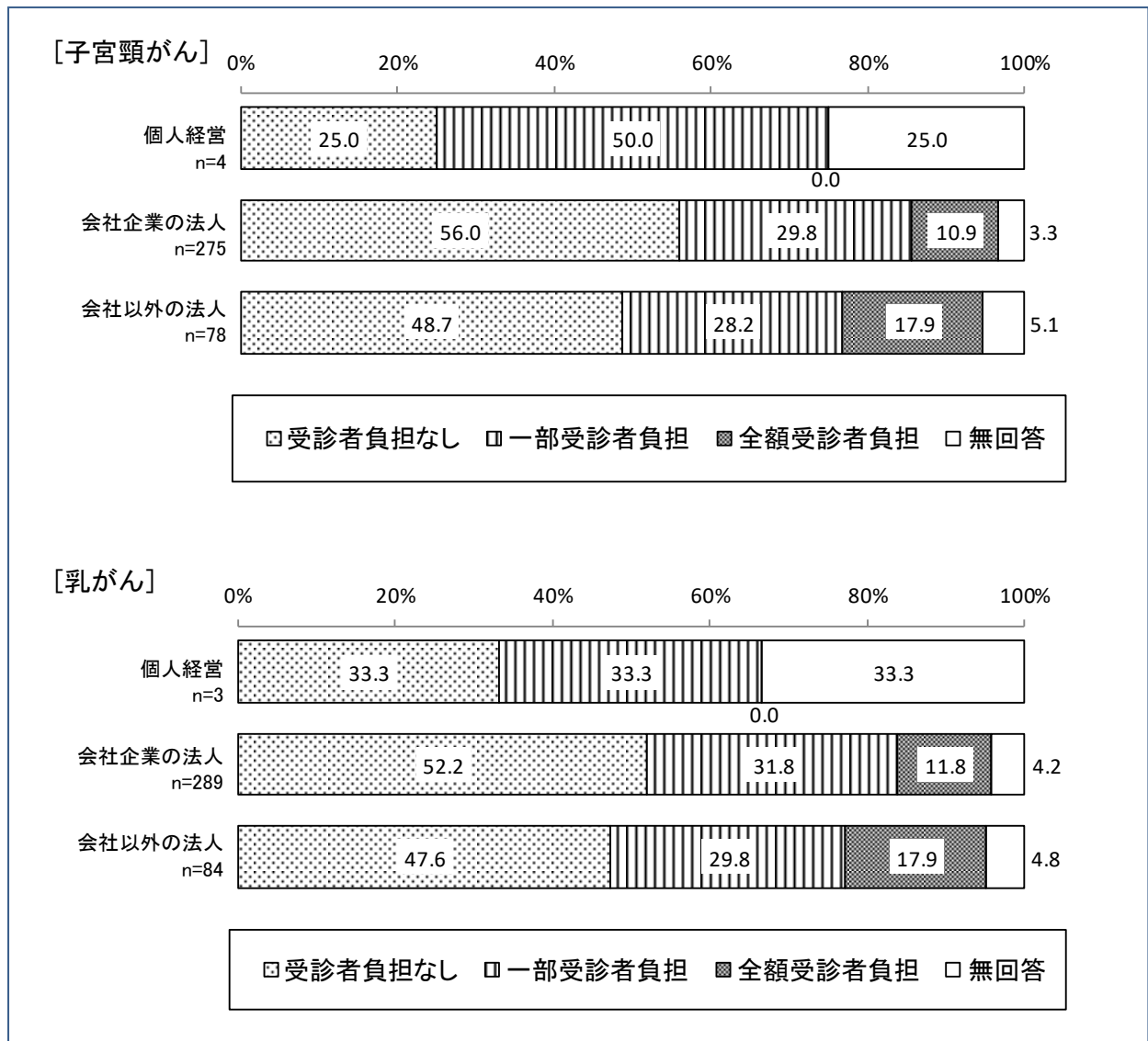


正社員の状況を経営組織別にみると、【会社企業の法人】【会社以外の法人】では、5つのがんすべてにおいて「受診者負担なし」が最も多い。

【個人経営】では、[胃がん][大腸がん][肺がん]は「受診者負担なし」が5～6割と最も多いが、[子宮頸がん]は「受診者負担なし」と「一部受診者負担」がともに38.5%となっており、[乳がん]では「一部受診者負担」が38.5%で最も多い。また、【個人経営】では「受診者負担なし」が他の経営組織と比べて少ない。(図 J2-4-SK)

イ. 経営組織別の傾向（非正社員）【図 J2-4-HK】





非正社員の状況を経営組織別にみると、【会社企業の法人】【会社以外の法人】では正社員と同様に、5つのがんすべてにおいて「受診者負担なし」が最も多い。

【個人経営】では、[胃がん][大腸がん][肺がん]では「受診者負担なし」が5～6割で最も多いが、[子宮頸がん]では「一部受診者負担」が50.0%で最も多く、[乳がん]では「受診者負担なし」「一部受診者負担」がともに33.3%。また、【個人経営】では、正社員と同様に「受診者負担なし」が他の経営組織と比べて少ない。(図 J2-4-HK)

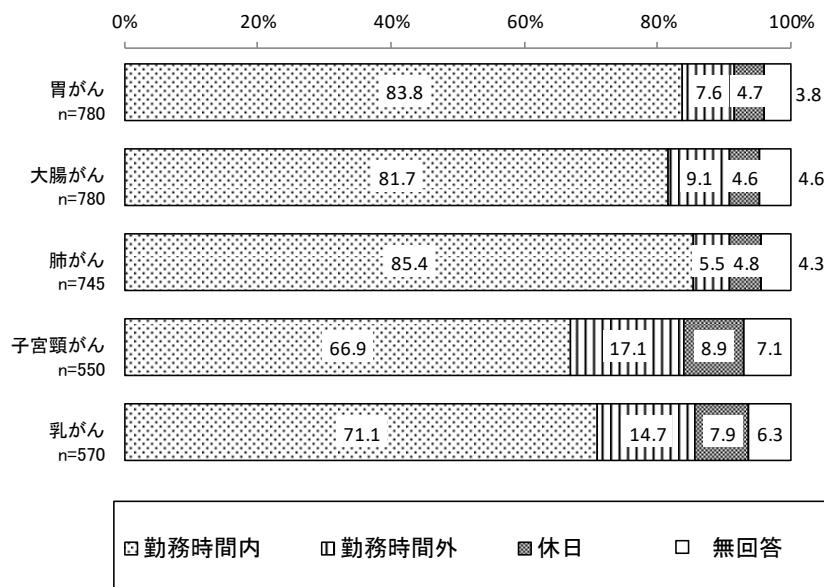
(5) がん検診の受診時間の取扱い

【全体の傾向】

正社員・非正社員とも、[胃がん][大腸がん][肺がん]は、「勤務時間内」が8割台、[子宮頸がん][乳がん]は「勤務時間内」は6～7割台で、「勤務時間外」が2割程度となっている。
 (図 J2-5-S/図 J2-5-H)

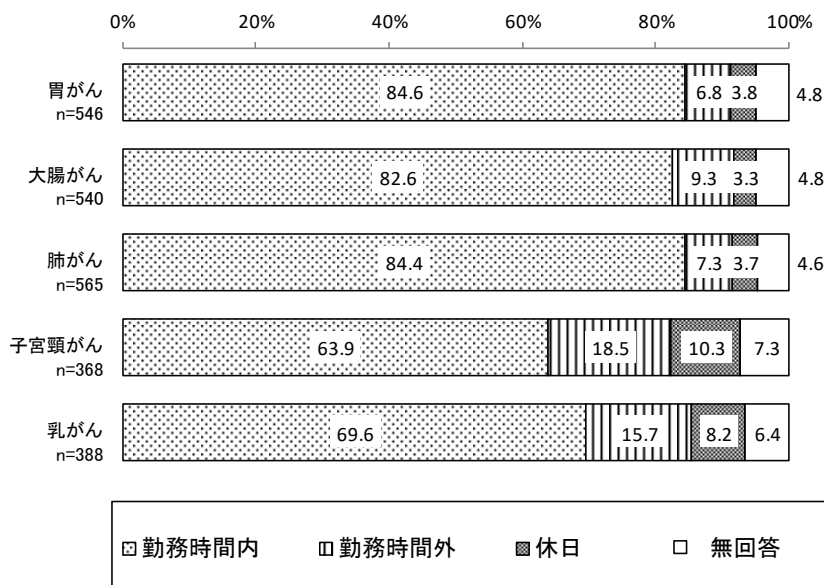
[正社員]

問2 (5) 受診時間の取扱い (各がんについて、該当1つずつに○) 【図 J2-5-S】



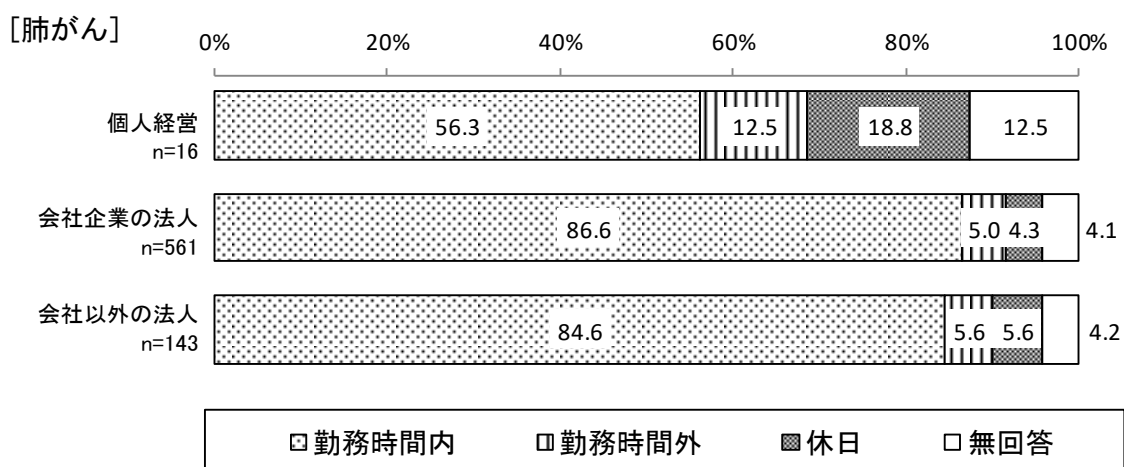
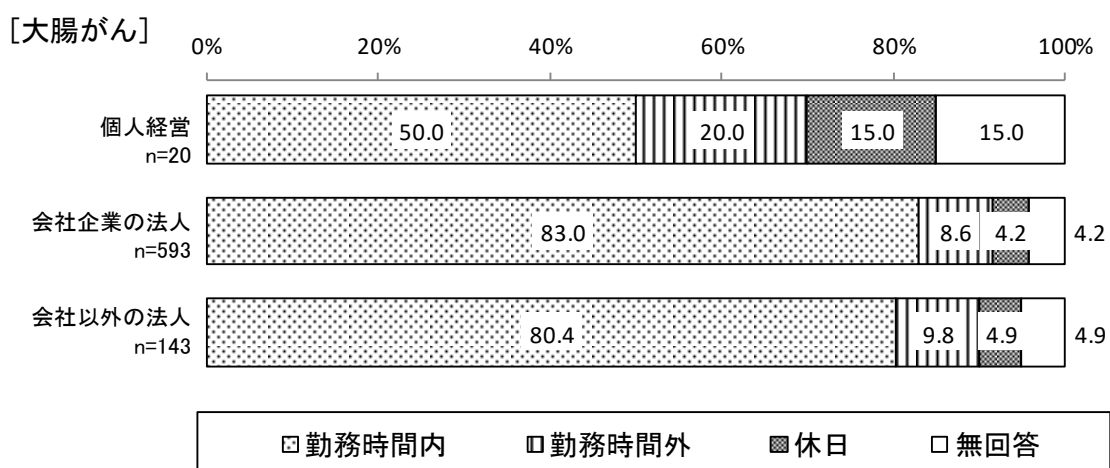
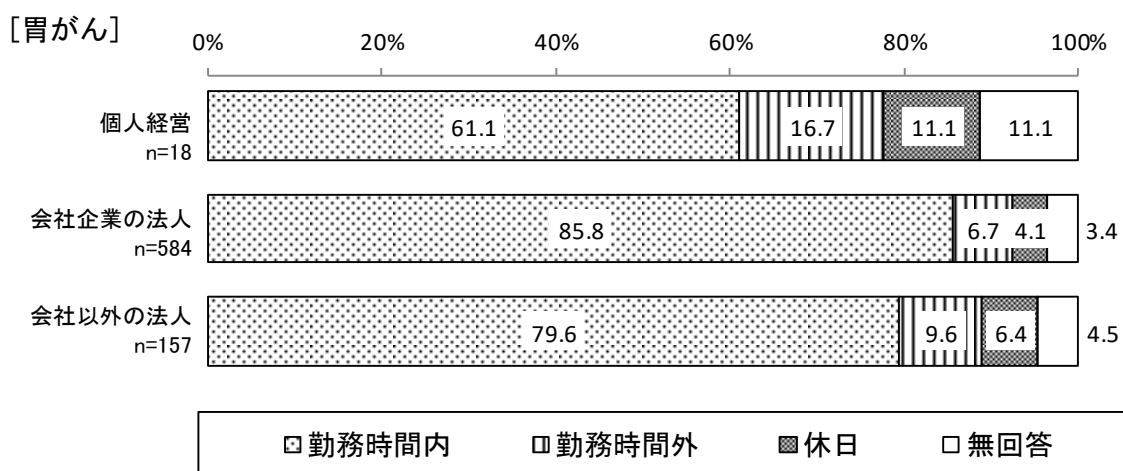
[非正社員]

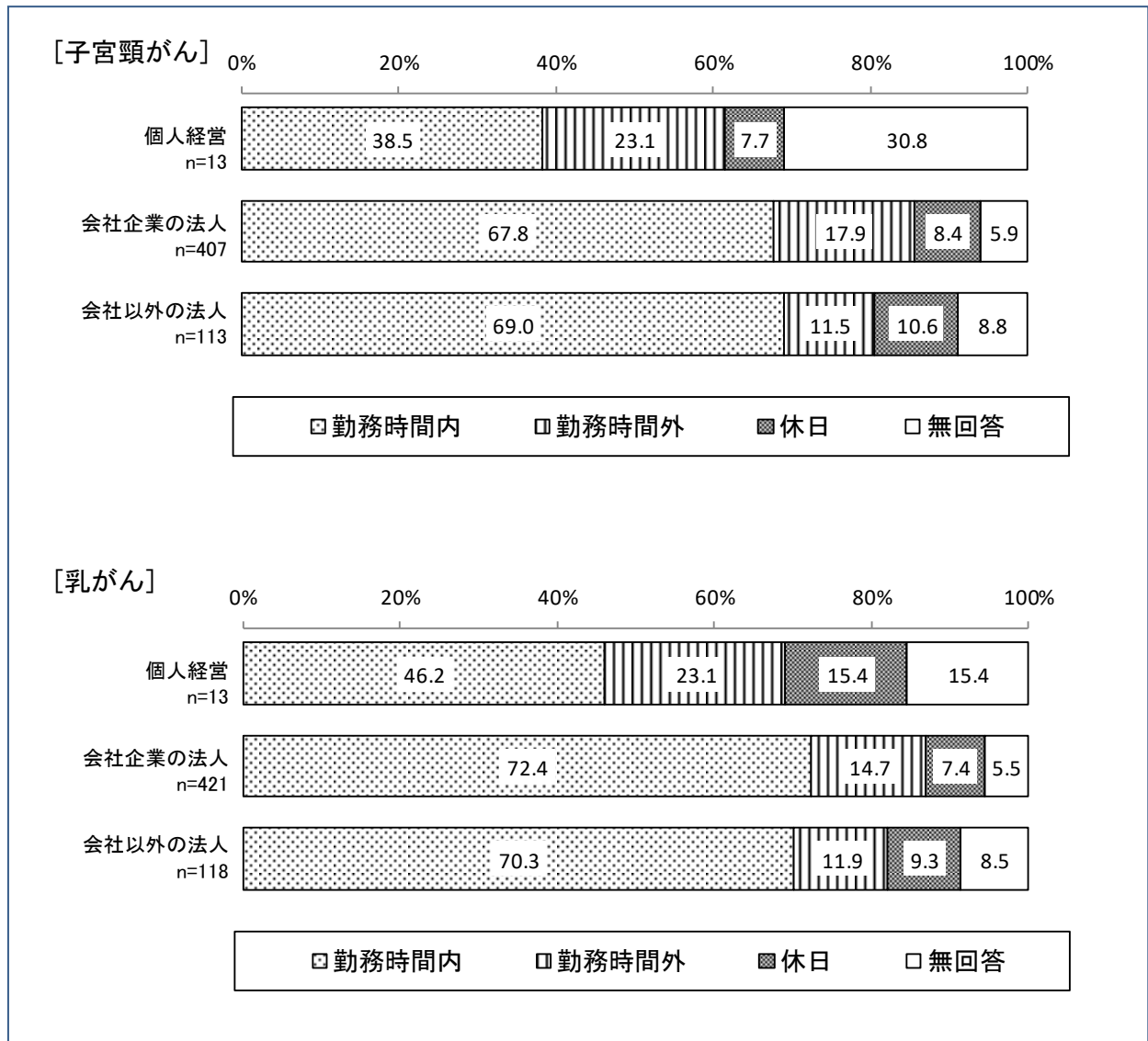
問2 (5) 受診時間の取扱い (各がんについて、該当1つずつに○) 【図 J2-5-H】



【経営組織別の傾向】

ア. 経営組織別の傾向（正社員）【図 J2-5-SK】

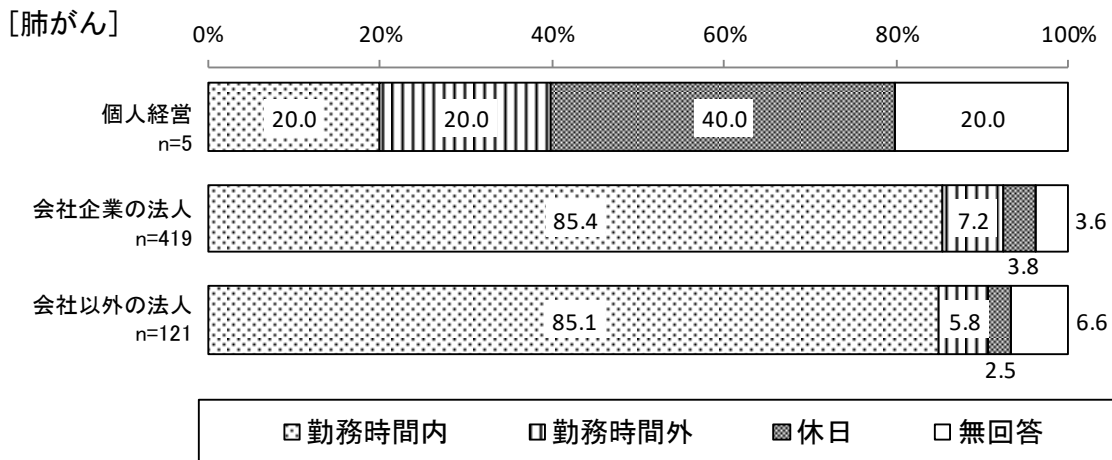
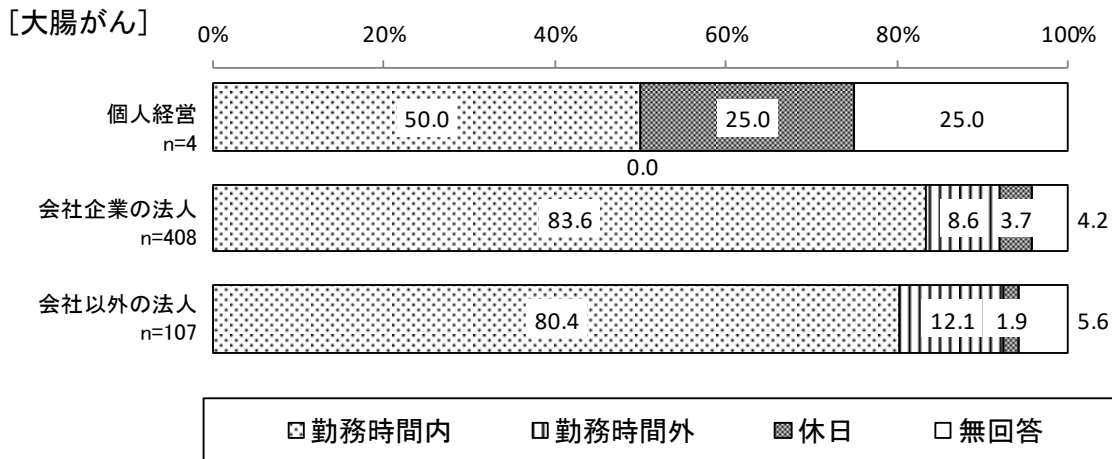
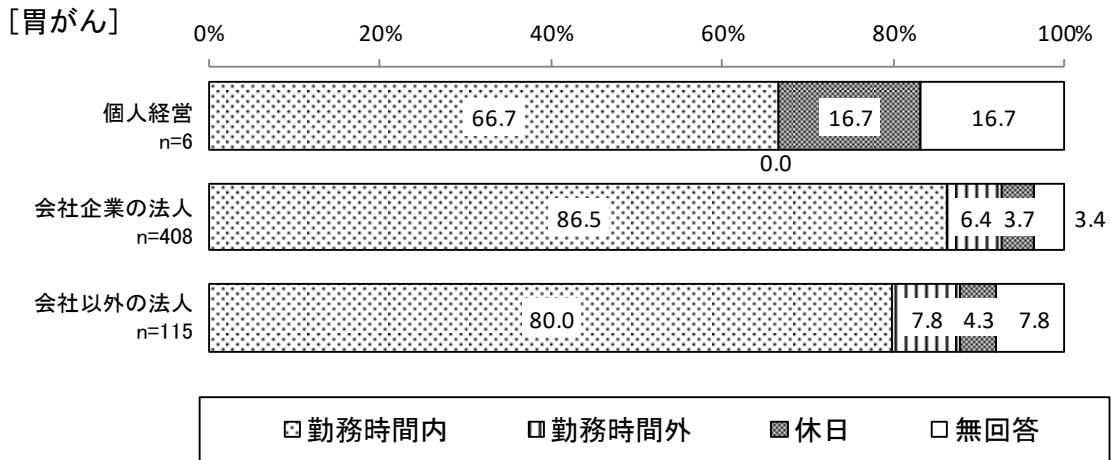


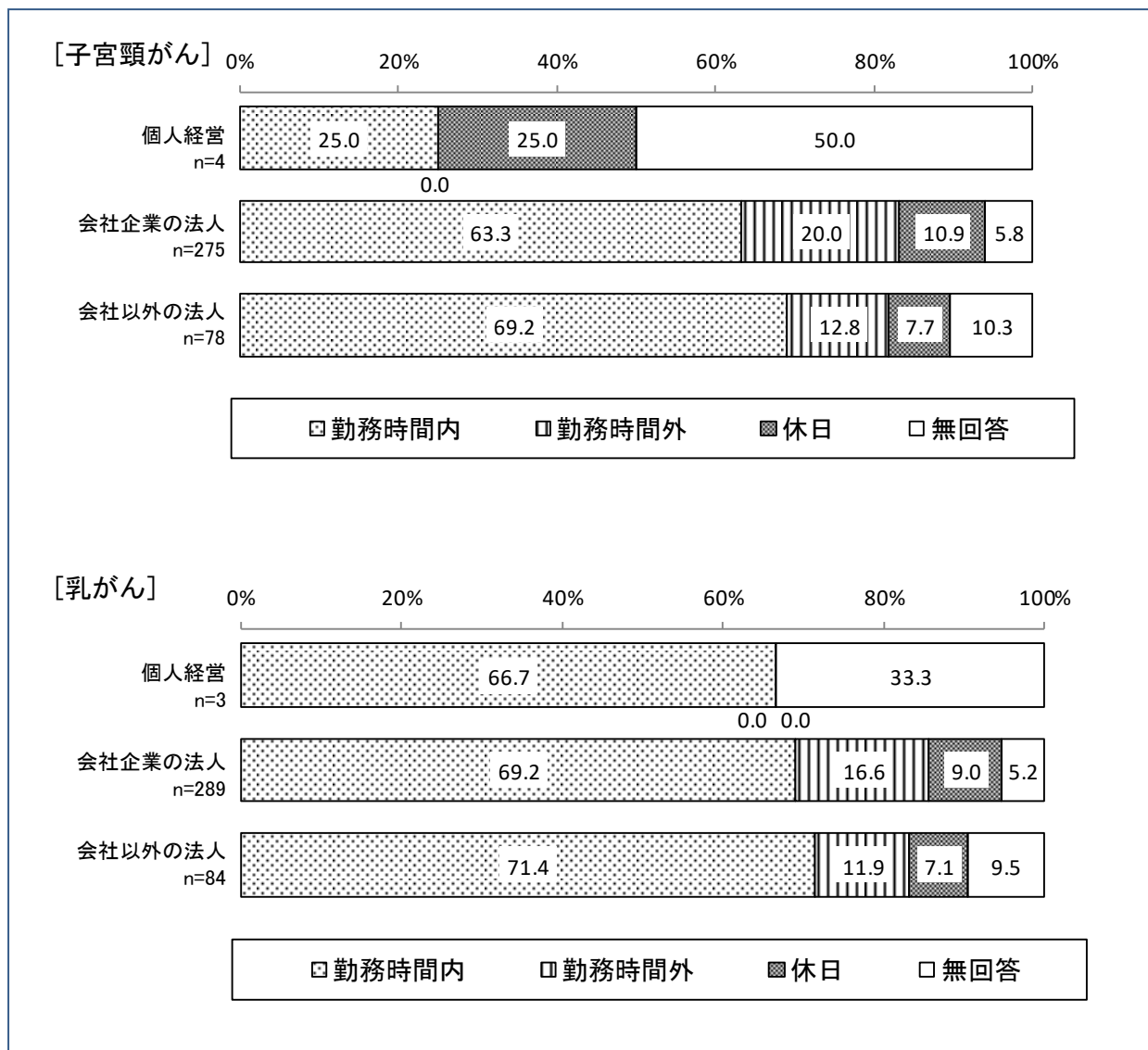


正社員の状況を経営組織別にみると、【会社企業の法人】【会社以外の法人】では5つのがんすべてにおいて「勤務時間内」が最も多く、[胃がん][大腸がん][肺がん]は8割前後、[子宮頸がん]は6割、[乳がん]は7割となっている。

【個人経営】でも5つのがんすべてにおいて「勤務時間内」が最も多いが、割合をみると[胃がん][大腸がん][肺がん]で5～6割、[子宮頸がん]は3割、[乳がん]は4割と、いずれも【会社企業の法人】【会社以外の法人】よりも低い割合となっている。(図 J2-5-SK)

イ. 経営組織別の傾向（非正社員）【図 J2-5-HK】





非正社員の状況を経営組織別にみると、【会社企業の法人】【会社以外の法人】では、正社員と同様に5つのがんすべてにおいて「勤務時間内」が最も多く、[胃がん][大腸がん][肺がん]は8割台、[子宮頸がん][乳がん]では6～7割台となっている。

【個人経営】では、[胃がん][大腸がん][乳がん]は正社員と同様に、「勤務時間内」が最も多いが、[肺がん]は「休日」が40.0%で最も多く、「勤務時間内」、「勤務時間外」がともに20.0%でこれに次いでいる。[子宮頸がん]は「勤務時間内」、「勤務時間外」がともに25.0%。(図 J2-5-HK)